

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーのパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



様々なサステイナブルな
旅づくりへの取り組みを行っています。
詳しい内容はホームページで
ご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目にあたる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。)&税・サービス料金
 - ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
 - ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
 - ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
 - ⑧ 団体行動時の必要な心付け
 - ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、同通税、同空港利用料
 - ⑩ その他(パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの)
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

- 上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
 - (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
 - (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
 - (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
 - (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割り、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
■お食生活：朝＝朝食(原則としてホテルでの朝食をご用意しておりますが、ツアー行程の関係で簡素なボックスブランチファースト等となる場合もございます) 昼＝昼食 夕＝夕食(軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます) 機＝機内食 □＝食事なし
■乗り物：✈＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを挿んでいただけよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを挿んでいたためのもです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後(以下に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。)

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によりします。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によりします。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までには解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までには解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までには解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

- (注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いいたします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。
- (注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。
- (注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によりします。ご旅行条件は、2025年10月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

□ **東京支店** TEL: 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ **大阪支店** TEL: 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ **名古屋支店** TEL: 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICCOCO8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ **九州支店** TEL: 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ **札幌支店** TEL: 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ **湘南支店** TEL: 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパルビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

WORLD

心に残る高品質な旅

東京 関空

2026.4/24~5/2出発

GW

2026

ゴールデンウィークの旅

Europe, Middle East, Africa, South America, Asia

好適なシーズンに、
個性的な旅へお出かけください。

クロアチア 世界遺産プリトヴィツェ国立公園 (イメージ)

おかげ様で創業55年目。 海外旅行とともに歩んできました。

旅に新たな発見や心の潤いを求めるお客様のご期待にお応えすべく、より安心で楽しく、ご満足度の高い旅をご提供できるよう独自の旅づくりを続けております。ただ多くの観光地や都市をどれだけ巡るかではなく、いかにより印象的、かつ心に残る旅をしていただくかを考え、朝夕のちょっとした時間や余白こそが旅そのものに「潤い」を与えてくれます。そのため、訪問先を絞り、連泊を主体とした日程としております。また、ホテルにおいても、ただ宿泊するだけの場所ではなく、その町をお楽しみいただくものとして考えており、事前にきちんと確定した上で発表しております。自由行動のある街では極力中心部に、夜遅く到着後に翌朝出発の場合は、空港近くや郊外など立地とグレードに配慮したホテル選びを心がけております。

2026年のゴールデンウィークの旅として22コースを発表いたしました。GWとしては、初登場の「ファーストクラス利用」の旅やツアーグランプリを受賞した「ムスタン王国の旅」など個性豊かな旅もご用意しております。皆様にお選びいただければ幸いです。

東京支店長 松崎 浩

全22コース

オランダ、ベルギー古都の旅 8日間.....	3
音楽に触れる 春のバリ滞在の旅 8日間.....	5
【関空発】南仏の景勝地とニース滞在の旅 9日間.....	7
イタリアのかかとプーリア周遊の旅 9日間.....	9
【関空発】夢のファーストクラスで愉しむ 湖水地方と北イタリアの休日 9日間.....	11
北スペインの景勝と美しき街々 サンチャゴ巡礼路とパルドールの旅 9日間.....	13
ハルツの森・ゴスラーと「ハンザの女王」リュベックの旅 9日間.....	15
美しきスロベニア、クロアチアの旅 9日間.....	17
十字架峠とコーカサス3か国の旅 9日間.....	19
イグアス大瀑布とペルー周遊・チチカカ湖の旅 13日間.....	21
【関空発】三大陸の十字路 ヨルダン周遊の旅 8日間.....	23
色彩の国 チュニジア周遊の旅 10日間.....	25
3連泊で楽しむ 南部アフリカ周遊の旅 10日間.....	27
南北アンゴラ大自然の旅 10日間.....	29
ヒマラヤの禁断の王国・ムスタンへの旅 10日間.....	31
隊商の道 サマルカンド、プハラ、ヒワの旅 8日間.....	33
ムガールの絢爛とマハラジャの栄華 8日間.....	35
ホテル アンナブルナ・ビューに泊まる 北インドとネパール満喫の旅 10日間.....	37
スリランカ名作ホテルと世界遺産の旅 8日間.....	39
ボルネオ島の大自然と不思議のブルネイ王国の旅 6日間.....	41
ジャワ島横断とコロニアルホテル 8日間.....	43
【関空発】台湾最南端の地へ 台湾南部の景勝と少数民族の里を訪ねる 5日間.....	45

オランダ アムステルダム春景色 (イメージ)



高所順応に配慮した行程

イグアス大瀑布とペルー周遊・チチカカ湖の旅 13日間



ブラジル側から見上げるイグアスの滝（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

イグアス大瀑布を ブラジル側・アルゼンチン側双方から満喫

ブラジルとアルゼンチンにまたがるイグアスの滝。滝幅は4000メートル、世界三大瀑布のなかで落差こそビクトリアの滝に劣るものの、その水量、スケールともに他の2つを圧倒します。大小無数の滝がカーテンのように連なり、水煙を立てて流れゆく美景や、最大落差80メートルを誇る「悪魔の喉笛」の吸い込まれるかのような迫力は他にはないものです。イグアス近郊に連泊することで、



イグアスの滝を様々な角度からご覧いただけます（イメージ）



アルゼンチン側からは「悪魔の喉笛」の絶景に迫ります（イメージ）



イグアスの滝 ブラジル側では遊歩道を歩きながら迫力ある景観を満喫します（イメージ）

ツアープランナーより

謎に包まれた空中都市マチュピチュやカミソリの刃すら通さない緻密な石組みで築かれたクスコなど、南米には謎多き古代文明の遺跡が残ります。また6000m級の山々が大陸を縦断するアンデス山脈やイグアスの滝に代表される大自然も、訪れる者を魅了してやみません。このたびはまず、大迫力のイグアスの滝近郊に連泊し、ブラジル側、アルゼンチン側双方からご覧いただきます。その後、ペルーではリマからマチュピチュ、クスコ、プーノと徐々に高度を上げ、高所順応に配慮した日程にするとともに、クスコでは客室内酸素供給システムのあるホテルをご用意しました。天空の湖チチカカ湖とあわせ、南米の絶景を巡る旅にご期待ください。

マチュピチュ村に宿泊し、マチュピチュ遺跡の観光へ

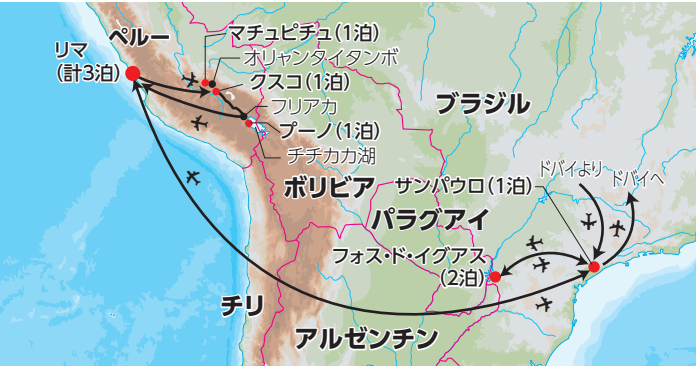
一度は訪れてみたい世界遺産マチュピチュ遺跡。クスコやオリヤンタイタンボからの日帰り観光のツアーも多い中、このたびは麓のマチュピチュ村に宿泊して遺跡へご案内します。数年前に時間指定入場制が導入されたことで、これまでのような混雑した状態での観光ではなく、適正な入場者数の中で見学できるよう



ペルーレイルでの移動も楽しみです（イメージ）



世界遺産マチュピチュ遺跡を観光します（イメージ）



高所順応に配慮した行程でご案内

ペルーを訪問するにあたり、心配なのが高山反応です。まずイグアスでの連泊で、現地の時差に身体を慣らします。その後、標高の低いリマで連泊、標高2000メートル台のマチュピチュ村での宿泊で身体を高所に慣らしてから、クスコ（標高3400メートル）やチチカカ湖（標高3800メートル）へと、お身体への負担を極力少なくする行程としています。また

クスコでは客室に常時酸素が供給されるホテルをご用意しています。



クスコの夜景の見学は宿泊する人の特権です（イメージ）

世界遺産リマの歴史地区の散策へご案内します

インカ帝国の町であった現在のリマがスペインに征服され、ヨーロッパ風の町並みが造られ始めたのが16世紀の半ば。ヨーロッパにも引けを取らない、まるでタイムカプセルのような中世の町並みが残されています。木造バルコニーの瀟洒な佇まいが特徴の美しい家々が連なるリマ

の散策にご案内します。



ヨーロッパを思わせるようなリマの大聖堂

インカ王降臨伝説の舞台 神秘の湖チチカカ湖へご案内します

標高3800メートル、アンデス山中のチチカカ湖は、希少な古代湖のひとつで、インカ初代の王が舞い降りたとされる聖地です。葦を重ねた浮島で昔ながらの生活を営む先住民の姿が見られ、500年以上続く貴重な風景が印象に残ります。



浮島が点在するチチカカ湖（イメージ）

ご宿泊ホテル

- サンパウロ空港近郊：メルキュール・グアルーリョス・ホテル
- フォス・ド・イグアス：ヴィヴアス・カタラタス
- リマ：シェルトン・リマ
- マチュピチュ村：エル・マピ・バイ・インカテラ
- クスコ：アランワ・クスコ・ブティック・ホテル
「酸素供給ホテル」にご宿泊いただきます。客室に絶えず酸素が供給され、高山病になりやすい睡眠中も安心してお休みいただけます。夜景が美しいアルマス広場まで徒歩5分の好立地です。
- プーノ：ホセ・アントニオ・プーノまたはカーサ・アンディーナ・プレミアム湖側のお部屋をご用意しました。
- リマ空港近郊：ウィングダム・グランド・コスタ・デル・ソル・リマエアポート

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、アエロメヒコ航空、カタール航空、エールフランスグループ、イベリア航空、ルフトハンザグループ、ITAエアウェイズ、ブリティッシュエアウェイズ、日本航空、ラタム航空、ユナイテッド航空

集合・日数・出発日	旅行代金
【成田または羽田空港集合・13日間】 4月24日（金）	エコノミークラス利用 ¥1,118,000

（お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります）

※ビジネスクラス利用代金は別途お問い合わせください。

ビジネスクラス利用区間：東京～サンパウロ間往復に適用

燃油サーチャージ別途目安：¥83,000：10月1日現在

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 福岡・札幌～東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付乗機料がございまして 各支店へお問い合わせください。
----------	-----------------------	-------------------------------	---------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港 22：30発	夜、成田空港より、航空機にてドバイへ。	（機中泊） ☐ ☐ ☐
2	ドバイ 04：50着 ドバイ 09：05発 サンパウロ 17：40着	着後、航空機を乗り換え、サンパウロへ。 着後、ホテルへ。	（サンパウロ空港近郊泊） ☒ 機中泊
3	サンパウロ 12：20発 フォス・ド・イグアス 14：05着	午後、航空機にてフォス・ド・イグアスへ。（注1） 着後、三国国境地点へ立ち寄り、ホテルへ。 【2連泊】（フォス・ド・イグアス泊）	朝 ☐ 夕 ☒
4	フォス・ド・イグアス	午前、バスにてアルゼンチン側のイグアスの滝の観光へ。悪魔の喉笛にご案内します。午後、自由行動。ご希望の方はポートツアー（実費）へご案内します。（フォス・ド・イグアス泊）	朝 ☒ 昼 ☒
5	フォス・ド・イグアス 14：50発 サンパウロ 16：35着 サンパウロ 19：10発 リマ 22：30着	午前、ブラジル側のイグアスの滝の観光へ。 早めの昼食後、航空機にてサンパウロで乗り換え、ペルーのリマへ。（注1） 着後、バスにてホテルへ。	【2連泊】（リマ泊） ☒ 朝 ☐ 昼 ☐
6	リマ	午前、ホテルをゆっくり出発。リマの市内観光をお楽しみください。プレインカ時代の土器コレクションに定評のある●ラファエル・ラルコ・エレー博物館を見学します。 昼食は館内のカフェレストランにて。 午後、画リマの歴史地区、○アルマス広場、フランシスコ・ピサロの眠る○カテドラルなどへご案内します。（リマ泊）	朝 ☒ 昼 ☒ 夕 ☒
7	リマ 08：05発 クスコ 09：25着 オリヤンタイタンボ 夜発 マチュピチュ 夜着	午前、航空機にてクスコへ。（注1） 着後、クスコの観光。○カテドラル、○アルマス広場、12角の石、●コリカンチャ（太陽の神殿）などにご案内します。 午後、バスにて聖なる谷を進み、オリヤンタイタンボ駅へ。ペルーレイル（列車）にて標高2,000mのマチュピチュ村へ。（注2）	（マチュピチュ村泊） ☒ 朝 ☐ 昼 ☐ 夕 ☒
8	マチュピチュ 午後発 オリヤンタイタンボ 時刻着 クスコ 夜着	午前、画●マチュピチュ遺跡の観光をお楽しみください。 午後、ペルーレイルにてオリヤンタイタンボへ。その後、バスにてクスコへ。 宿泊は酸素供給ホテルをご用意しました。（クスコ泊）	朝 ☐ 昼 ☒ 夕 ☒
9	クスコ 07：45発 プーノ 19：00着	朝、バスにてプーノへ。アンデス山脈を車窓にアルティプラノ（高地に広がる大平原）を進みます。途中、標高4335mのラ・ラヤ峠を越えます。宿泊はチチカカ湖近くのホテルの湖側のお部屋をご用意しました。（プーノ泊）	朝 ☐ 昼 ☐ 夕 ☒
10	プーノ フリアカ 18：00発 リマ 19：25着	午前、チチカカ湖に浮かぶ葦でできたウロス島にボート（混乗）で ご案内します。午後、バスにてフリアカへ。 夕刻、航空機にてリマへ。（注1）	（リマ空港近郊泊） ☒ 朝 ☐ 昼 ☐ 夕 ☒
11	リマ 09：25発 サンパウロ 16：25着	午前、航空機にてサンパウロへ。 着後、空港近郊のホテルにて休憩。 （サンパウロ空港近郊ホテルにて休憩、および機中泊）	朝 ☒ 機中泊 ☒ 夕 ☐
12	サンパウロ 01：35発 ドバイ 23：00着	深夜、航空機にてドバイへ。	（機中泊） ☐ 機中泊 ☐
13	ドバイ 02：40発 成田空港 17：35着	ドバイより、航空機にて帰国の途へ。 夕刻、成田空港に到着後、解散。	機中泊 ☐

※日程表の時刻は、成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。他の便や他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。利用する航空会社・便によっては11日リマからの移動はサンパウロ以外の南米都市となる場合がございます。その場合は、サンパウロ空港近郊ホテルでの休憩と夕食のご案内はございませんので、予めお含みおきください。○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色。ならびに旅程に応じてご利用しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。（注1）南米内のフライトスケジュールは変更となる場合があります。また、その場合は観光順序や食事も変更になりますので、予めご了承ください。（注2）マチュピチュへはスーツケースを持って行くことが出来ないため、クスコのホテルにスーツケースは置いて行きます。マチュピチュへの1泊2日分の荷物を入れるバックやキャリーケースをご用意ください。また、鉄道の発着時刻は変更となる場合があります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食9回、昼食7回、夕食9回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時が月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開きページを2箇所以上含む計10ページ以上 【当ツアーお申込みについてのご注意】 ■標高3000メートルを超える高地の旅となりますので、お申し込み時に「健康アンケート」ご提出を参加条件とさせていただきます。場合によっては医師の診断書の提出をお願いいたします。予めご了承ください。また、ご旅行中のお客様においては、医師の診断・治療を必要とした場合、必要な措置を取ることがあります。場合によっては行程途中での旅行中止、あるいはご帰国いただくこともございます。その際は当社添乗員の指示に従ってください。 ■高地滞在のご注意：高山病に加え、飲酒、喫煙、急激な運動をお控えください。高地での旅は不安がつきものです。今回のご旅行では、添乗員がパルスオキシメーター（携帯用の血中酸素飽和度測定器）を持参し、高度順応の状態を把握するよう努めさせていただきます。 ■海外旅行保険加入をお願いします。万、重度の高山病にかかれた際に、近くの病院で治療ができない場合は車やヘリコプター、セシナ機等をチャーターするなど搬送や治療に多額の費用がかかる可能性があります。「治療・救護者費用」に対応した海外旅行保険に必ずご加入ください。 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へお問い合わせ、確認くださいますようお願いいたします。

【関空発】 ペトラ遺跡まで徒歩圏のホテルに宿泊

三大大陸の十字路

ヨルダン周遊の旅 8日間



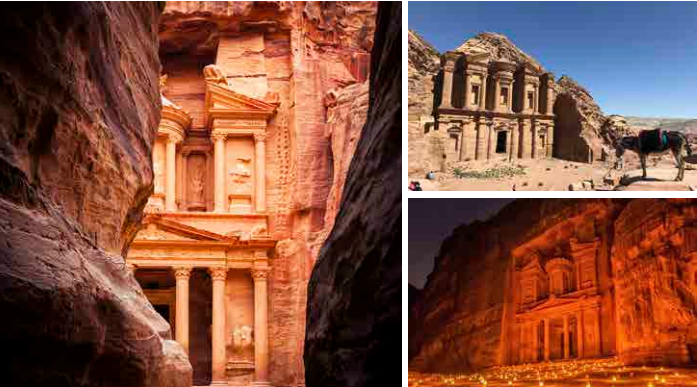
ペトラ

ここに注目。旅のポイント

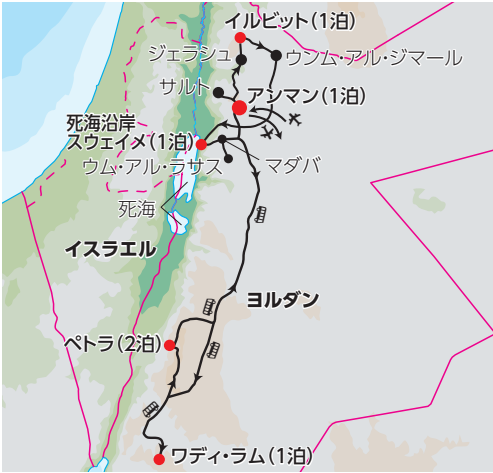
ペトラでは遺跡まで徒歩圏内のホテルに連泊し、ペトラ・バイ・ナイトも含めてじっくりと見学します

ペトラは紀元前3世紀に栄えたナバテア人の隊商都市。シクと呼ばれる断崖絶壁の細い道を進むと、見事なファサードを持つエル・ハズネ(宝物殿)が忽然と姿を現します。2024年10月には、地下より2000年以上前の「秘密の墓」が見つかり話題となりました。徒歩圏内のホテルに宿泊

することによって、午後の自由行動の時間も合わせて、広大な都市遺跡をご自身のペースで見学できます。夜もランタン・キャンドルのほのかな灯りにエル・ハズネが浮かび上がる、幻想的な「ペトラ・バイ・ナイト」にご案内します。



左・シク(岩の裂け目)を抜けると忽然と現れるエル・ハズネ(ファラオの宝物殿) 右上・ご希望の方は、午後の自由行動で登山道(片道約45分、階段や上り坂があります)を登り、エド・ディル(修道院跡)を訪れることもできます。ナバテアの神事に関わる場所であったと推測されています。ビザンチン時代は修道院として利用されました。 右下・ペトラ・バイ・ナイト ほのかな灯りに照らされるペトラ遺跡は幻想的です(イメージ)



ツアープランナーより

ヨルダンには古代遺跡の数々、世界で最も低い場所である死海や自然が築いた造形美が見られる広大な砂漠ワディ・ラム、聖書ゆかりの地など多彩な魅力がぎっしりと詰まっています。近年には古都サルトやウンム・アル・ジマールが世界遺産に登録され、より注目を集めています。このたびは、ヨルダンをより印象深くご案内できるよう宿泊施設にこだわりました。ペトラでは遺跡まで徒歩圏内のホテルを2連泊確保。夜のペトラ・バイ・ナイトにご案内するとともに、自由行動の際にはお客様ご自身のペースで自由に遺跡からホテルへ戻る事が出来るようにしました。ワディ・ラムではバブル・テント型ホテルに宿泊し、お部屋から夜空をお楽しみいただきます。ひと味違うヨルダンの旅を是非お楽しみください。

2024年新たに登録されたヨルダン7番目の世界遺産 ウンム・アル・ジマールを訪ねます

北ヨルダンに位置するウンム・アル・ジマール。もともとはナバテア人の集落から始まり、その後、ローマ軍の駐屯地、5世紀以降はビザンチン帝国の支配下におかれた農業と交易の町です。玄武岩で造られた様々な建造物が、保存状態よく残され、

特にビザンチンおよび初期イスラム時代を代表する都市遺跡となっています。また、いくつかの初期ローマ帝国の軍事建築物が再利用され、後の住民によって建物の一部として組み込まれています。



ヨルダンの新たな世界遺産ウンム・アル・ジマール遺跡

『アラビアのロレンス』の世界

ワディ・ラムでは、砂漠での特別な滞在

ヨルダン南部に広がる世界遺産のワディ・ラムは映画「アラビアのロレンス」のロケ地でもあり、映画に登場した、風雨が造り上げた壮大な大地の芸術が目の前に広がります。ここでは、砂漠の真っ只中にあり、部屋から夜空を満喫できるバブル・テント型のホテルに宿泊。夜は人工の明かりが少ないホテルから夜空を眺め、翌日は四輪駆動車でワディ・ラムの砂漠と奇岩の壮大な景観をお楽

しみいただきます。



バブル・テント型の客室に宿泊し、ワディ・ラムの夜空を眺めながらお過ごしいただきます(イメージ)



文化・自然ともに高く評価され、複合遺産に登録されるワディ・ラム(イメージ)

古代ローマの栄華を今に伝えるジェラシュ遺跡

「中東のポンペイ」とも呼ばれるジェラシュ。古代ローマの植民地として栄えましたが、大地震により崩壊しました。砂に呑み込まれたために保存状態がよく、当時の姿をよく残しています。広大な遺跡をゆっくりと歩きながら見学します。



泉の神であるニンフを祀った神殿跡

2021年に登録された世界遺産の古都サルト

ローマ帝国時代から発展した歴史ある町サルト。オスマン帝国時代の面影を伝える山吹色した石造りの伝統的な建物が建ち並び、古都風情を感じさせてくれます。この町の中心部には、約600の重要な歴史的建造物があり、2021年にはユネスコの世界遺産に登録されました。



山吹色の石造りの家々が軒を連ねます

死海では浮遊体験をご体験ください

ヨルダンを訪ねたなら見逃したくない名所のひとつ、塩湖の死海。海水の10倍もの塩分濃度があり、浮力が強いことからぶかぶかと浮遊体験が楽しめます。体の力を抜くのがコツ。ぜひお試しください。添乗員が写真をお撮りします。



死海での浮遊体験(イメージ)

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：ME114Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・8日間】 5月2日(土)		エコノミークラス利用 ¥558,000	ビジネスクラス利用 ¥1,238,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥85,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：関西空港～アンマン間往復に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥62,500・10月1日現在			

地方発着追加代金	東京・福岡～大阪 片道 …… ¥5,000 札幌～大阪 片道 …… ¥10,000	包し料無条件でご希望の支店へお問い合わせください
----------	--	--------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港 22:25発	深夜、関西空港より航空機にて、イスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール 04:55着 イスタンブール 06:45発 アンマン 09:35着 アンマン 09:35着 ジェラシュ遺跡	イスタンブールにて航空機を乗り換え、ヨルダンの首都アンマンへ。 着後、バスにて ^④ サルトの町へ。19世紀に豪商が建てた山吹色の石灰岩の町並みが残る旧市街の散策などにご案内します。 その後、古代ローマ遺跡としては世界屈指の保存状態の良さを誇る● ^⑤ ジェラシュ遺跡を見学します。	(イルビット泊) 機屋夕
3	イルビット 18:00着 イルビット 08:00発 ウンム・アル・ジマール 死海沿岸 13:30着	見学後、イルビットへ。 午前、 ^④ ウンム・アル・ジマールへ。1～8世紀の遺跡が並び都市遺跡をご覧いただけます。 その後、死海へ。着後、 ^⑥ 死海の浮遊体験をお楽しみください。	(死海沿岸スウェイメ泊) 朝屋夕
4	死海沿岸 07:30発 ウム・アル・ラサス マダバ	朝、ローマ時代のモザイク画が残る ^④ ウム・アル・ラサス、 ^⑤ マダバの● ^⑦ 聖ジョージ教会を訪ね、ワディ・ラムへ向かいます。 ご宿泊は居ながらにして大自然を満喫出来るバブル・テント・ホテルです。	(ワディ・ラム泊) 朝屋夕
5	ワディ・ラム 17:30着 ワディ・ラム 11:00発 ペトラ 13:00着	夜、人工の明かりが少ないホテル周辺で夜空をお楽しみください。 午前、「アラビアのロレンス」の舞台 ^⑧ ワディ・ラムの観光。4輪駆動車にて砂漠と奇岩の壮大な景観をお楽しみいただきます。 その後、ペトラへ。着後、 ^⑨ リトル・ペトラにご案内します。その後、ホテルへ。	(ワディ・ラム泊) 朝屋夕
6	ペトラ 08:00発 アンマン 20:30発 イスタンブール 23:35着	ご宿泊は ^⑩ ペトラ遺跡へ徒歩圏内のホテルです。 夕食後、エル・ハズネが幻想的にライトアップされる「ペトラ・バイ・ナイト」へご案内します。	(ペトラ泊) 朝屋夕
7	ペトラ 08:00発 アンマン 20:30発 イスタンブール 23:35着	終日、 ^⑪ ペトラ遺跡の観光。入口からシクと呼ばれる隘路を歩き、エル・ハズネ(宝物館)、ローマ円形劇場、王家の墓、凱旋門などゆっくり見学します。 昼食後、自由行動。遺跡まで徒歩圏のホテルを確保しておりますので、ご自身のペースでゆっくりと散策や写真撮影などお楽しみください。ご希望の方はエド・ディル(修道院跡)へご案内します。	(ペトラ泊) 朝屋夕
8	イスタンブール 02:10発 関西空港 19:00着	午前、アンマンへ向かいます。 午後、死海文書が展示される● ^⑫ ヨルダン博物館、● ^⑬ アンマン城にご案内します。 夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝屋機

○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡単なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食5回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員:関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時6ヵ月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要 ■ヨルダンの査証は現地取得となります。(9月1日現在:無料) ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいませよう、お願いします。

ご宿泊ホテル
■ イルビット：セブン・デイズ・ホテル 土地柄、ホテルの設備は簡素となります。
■ 死海沿岸スウェイメ：ケンピンスキー・ホテル・イシュタル・デッドシー 死海沿岸に建つリゾートホテル。プライベートビーチで浮遊体験ができます。
■ ワディ・ラム：サンシティ・キャンプ 荒涼たる美しさを誇るワディ・ラム内に建つホテル。客室から夜空を満喫できる、設備の整ったバブル・テント型の客室をご用意しました。 ※シャワーのみ客室となります。
■ ペトラ：ペトラ・ゲスト・ハウス・ホテル ペトラ遺跡まで至近の距離にあるホテル。名物のケイブ・バー(ナバテア時代からの洞窟を改装したバー・レストラン)もお楽しみください。
※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

画家パウル・クレーが見た風景
色彩の国
チュニジア周遊の旅 10日間



青と白のコントラストが印象的なシディ・ブ・サイド

ここに注目。旅のポイント

画家パウル・クレー が見た景色 色彩豊かなチュニジアを巡ります

「色は、私を永遠に捉えたのだ。私と色とは一体だ
——これこそ幸福なひとときでなくて何であろうか。私は、絵描きなのだ。」
パウル・クレー 著 南原実 訳『クレーの日記』(新潮社 1961年)

1914年春のチュニジア旅行でその色彩に強烈なインスピレーションを受けたパウル・クレー (1879～1940)。旅行前後の作品を見比べればその違いは一目瞭然です。クレーの旅から100年以上が経った今も、チュニジアは変わらぬ色彩世界で旅人を迎え入れてくれます。青い



ハンマメットのモスク(1914年)
ニューヨーク、メトロポリタン美術館所蔵



カイラワン(1914年)



南チュニジアの庭(1919年)
ニューヨーク、メトロポリタン美術館所蔵



ツアープランナーより

パウル・クレーは、スイスで生まれドイツで活躍した画家です。抽象表現主義の先駆者として、明るく上品な色彩と自由で繊細な線を用い、音楽的な叙情性を持つとも表現される独自の作風で知られています。現代アートに大きな影響を与えたクレーの作風が生まれたのが、1914年の春から夏にかけて、画家仲間とのチュニジアへの旅でした。チュニスやシディ・ブ・サイド、カイラワンなどを訪ね、初夏の陽光に輝く色彩に感銘を受けたことを日記に残しています。このチュニジア旅行を境に、白黒の線描画から一転、幻想的な色彩表現へと変化していったのです。画家の心を捉え、美術史に残る影響を与えたチュニジアの風景を、クレーと同じ季節に訪ねてみませんか。



パウル・クレー
チュニジア旅行以前の作風 (1912 年)



鮮やかな色合いのナブール焼き (イメージ)



スークのスパイス店 (イメージ)

青と白のコントラストが印象的なシディ・ブ・サイド

地中海に面し、チュニジアンブルーの窓枠と白壁の家々が続く町並みが印象的なシディ・ブ・サイド。どこかヨーロッパ的な雰囲気が漂う旧市街には色鮮やかな陶器や人形を売るお店などが立ち並び、のぞき見ながら散策するのが楽しい町です。クレーが旅した時代の面影も感じながら、周辺の見どころへも足を伸ばします。



町にはお土産を売るお店などが軒を連ねています

チュニジアの7つの世界遺産を訪ねます

フェニキア人により建設されたカルタゴの時代に始まり、古代ローマやイスラム、フランスと多くの民族がこの地の覇権を握ってきました。それぞれの時代や文化を物語る遺跡や町並みが、現在のチュニジアの各地によく残されており、それが多面的な魅力を生み出す様はまさにモザイクの国と言えるでしょう。国土面積の大半は砂漠に覆われているため見どころが凝縮されており、7つの世界遺産を効率良く巡ることができます。



カルタゴ遺跡



カイラワン グランドモスク



スース



エルジェムの円形闘技場



都市遺跡ケルクアン



ドゥッガ遺跡



チュニスの旧市街(イメージ)

クレーも訪ねた「イスラム第4の聖地」世界遺産カイラワン

西暦670年頃に町の建設が始まり、9～10世紀には北アフリカのアラブ人王朝の首都となり、メッカ、メディナ、エルサレムに次ぐ第4の聖地として知られています。その中心となる大モスクは、見学できる貴重なウマイヤ朝時代のモスクです。



ウマイヤ朝時代の大モスク (イメージ)

利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エティハド航空、エジプト航空、エールフランスグループ、ルフトハンザグループ、ITA エアウェイズ、日本航空
ツアーコード：FN135T

集合・日数・出発日	旅行代金
【成田または羽田空港集合・10日間】 4月30日(木)	エコノミークラス利用 ¥475,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥50,000にて承ります)	
※ビジネスクラス追加代金は別途お問い合わせください。	
ビジネスクラス利用区間：【エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空】：東京～中東主要都市～チュニス間の往復に適用 【上記以外の航空会社】：日本発着の国際線区間におのみ適用	
燃油サーチャージ別途目安：¥79,000：10月1日現在	

地方発着追加代金		大阪・名古屋→東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌→東京 片道 …… ¥10,000	包付機中泊がご希望の各支店へお問い合わせください。
欧	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港22:30→	深夜、成田空港より、航空機にてドバイへ。	(機中泊) □□機
2	ドバイ04:50 着 ドバイ08:45 発→ チュニス11:55 着	航空機を乗り換え、チュニスへ。 着後、チュニス近郊のホテルへ。 【2連泊】(チュニス近郊ラマルサ泊) 機機夕	
3	ラマルサ ㊦ (シディ・ブ・サイド、 ㊦カルタゴ遺跡)	午前、シディ・ブ・サイドの散策へ。青と白の統一された美しい町並みの散策をのんびりとお楽しみください。18世紀創業のカフェ・デ・ナットでの名物の松の実のティーやパンペローニ(チュニジア版ドーナツ)の試食などもお勧めです。 午後、フェニキア人の都市国家遺跡㊦カルタゴ遺跡へ。●フェニキア人の墓地トフェヤ○古代カルタゴの港、○ビュルサの丘をご覧いただきます (チュニス近郊ラマルサ泊) 朝昼夕	
4	ラマルサ08:00 発 ㊦ カイラワン11:00 着 (㊦カイラワン)	午前、「イスラム教4番目の聖地」と称される古都カイラワンへ。 着後、カイラワンの市内観光。●グランドモスク、○シディ・サハブ霊廟、○アラブ貯水池など、古代アラブ人が造り上げた聖都の㊦旧市街の散策へご案内します。(注) 【2連泊】(カイラワン泊) 朝昼夕	
5	カイラワン ㊦ (㊦スース、 ㊦エルジェム)	午前、「サヘル地方の真珠」と称されるスースへ。㊦スース旧市街の散策へご案内します。午後、エルジェムを訪ね、㊦円形闘技場を見学します。 (カイラワン泊) 朝昼夕	
6	カイラワン08:00 発 ㊦ ㊦ケルクアン ㊦ チュニス17:00 着	午前、北部の陶器の町ナブールを経由し、古代ポエニ時代の都市遺跡㊦ケルクアンを訪れます。 その後、チュニスへ。 【3連泊】(チュニス泊) 朝昼夕	
7	チュニス (㊦ドゥッガ遺跡、 ㊦チュニス旧市街)	午前、チュニス西郊外へ。北アフリカを代表する㊦●ドゥッガ遺跡を訪ねます。 午後、㊦チュニス旧市街の観光。○グランドモスクやスーク(市場)散策へご案内します。 (チュニス泊) 朝昼夕	
8	チュニス ㊦ (バルドー博物館)	午前、●バルドー博物館にご案内します。 午後、自由行動。 (チュニス泊) 朝昼夕	
9	チュニス13:55 発→ ドバイ22:50 着	午後、航空機にてドバイへ。 航空機を乗り換え、帰国の途へ	(機中泊) 朝□機
10	ドバイ02:40 発→ 成田空港17:35 着	夕刻、成田空港に到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は、成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。また、日本を午前中に出発する航空会社を利用の場合、初泊の機中泊を伴わない、5月1日発の9日間のご案内となります。

(注)宗教行事等の理由で、カイラワンの宗教施設内部にご案内できない場合もございます。予めご了承ください。

○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食6回、夕食7回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6 ヶ月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページを含む4ページ以上必要

ご宿泊ホテル
■ チュニス近郊ラマルサ：エル・ムラディ・ガマルタ
■ カイラワン：ホテル・ラ・カスバ
■ チュニス：エル・ムラディ・アフリカ
メインストリート・ブルギバ通りに面して建つホテルです。
※/スタッフ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

世界有数のモザイクコレクションを誇る バルドー博物館

紀元前2,500年頃から発達したモザイク画は様々な地で見られますが、中でも有数のコレクションを収めるのがバルドー博物館です。写実的で躍動感に溢れるローマ時代のモザイクを中心に、質の高い作品をご覧いただけます。



海の神ポセイドンを描いたモザイク

3連泊で楽しむ 南部アフリカ周遊の旅 10日間



雄大なテーブルマウンテンの麓に広がるケープタウン

ここに注目。旅のポイント

ヴィクトリアフォールズに3連泊。ヴィクトリア大瀑布と幻想的なザンベジ川のサンセットクルーズ

ヴィクトリア大瀑布はジンバブエとザンビアとの国境にもなっている、世界三大瀑布のひとつ。約1.8キロの遊歩道にはいくつかの展望台があり、様々な角度から圧倒的な迫力の滝をご覧いただけます。このたびは、ヴィクトリアフォールズで3連泊



この時期は水量が多く、迫力あるヴィクトリア大瀑布の景観をお楽しみいただけます(注2) (イメージ)



ザンベジ川の向こうに沈みゆく幻想的な夕日 (イメージ)

ツアープランナーより

アフリカ南部の南アフリカ、ジンバブエ、ボツワナの3ヶ国を訪問します。いかにもアフリカらしい大自然を満喫できる場所もあれば、アフリカにいることを感じさせない、まるでヨーロッパのような雰囲気のある町もございます。南部アフリカの旅の醍醐味は、モザイクのように、地域によって全く異なる趣があることでしょう。テーブルマウンテンの裾野に広がるケープタウンはアフリカ大陸を代表する風光明媚な町であり、ヨーロッパの海辺の町を想起させます。一方で、喜望峰やテーブルマウンテンなどの自然美も楽しめます。また、世界三大瀑布の一つヴィクトリアの滝の迫力ある風景や、象の聖地チョベ国立公園でのサファリ体験など大自然を満喫したり、全ての見どころがハイライトの行程で南部アフリカの3カ国の魅力をご堪能いただけます。

ヴィクトリアフォールズから訪問 ボツワナ・チョベ国立公園でサファリを楽しみます

ヴィクトリアフォールズ連泊中には、ボツワナのチョベ国立公園を訪れます。アフリカ屈指の象の生息地として知られる国立公園では、四輪駆動車で動物を探しながらのドライブ・サファリとチョベ川から動物へアプローチするボート・サファリを楽しみ、迫力ある動物たちに迫ります。



ライオンにも出会えるチャンス (イメージ)



ドライブ・サファリの風景(イメージ)

ケープタウンにて旅情を満喫 喜望峰や風光明媚な景観をお楽しみください

ケープタウンでは3連泊し、周辺の見どころを観光します。眼下に広がる街並みと大西洋の眺めが印象的なテーブルマウンテンや、南アフリカの多種多様な植生をご覧いただ

けるカーステンボッシュ植物園、大航海時代のロマンを感じさせる喜望峰をはじめとするケープ半島へご案内します。



ロープウェイに乗ってテーブルマウンテンの上から眺めるケープタウンの絶景(イメージ)



ケープポイントから喜望峰を眺め、大航海時代に思いを馳せてみましょう



ボルダースビーチでは愛らしいケープペンギンに出会えます (イメージ)

ケープタウンではテーブルマウンテンを望むことができるお部屋に3連泊します

■ ケープタウン：ヴィンヤード・ホテル

くつろぎの時間をお楽しみいただけるよう、3連泊するケープタウンではヴィンヤード・ホテルをご用意しました。ウォーターフロント地区から車で15分ほどの閑静な住宅街に建ち、南アフリカの重要文化財にも登録されている英国様式の瀟洒なホテルです。テーブルマウンテンの麓に位置し、天気に恵まれれば、お部屋や庭園からテーブルマウンテンを見上げたり、様々な植物が植えられている庭の散策もお楽しみください。



テーブルマウンテンを眺められるお部屋をご用意しました。(イメージ)

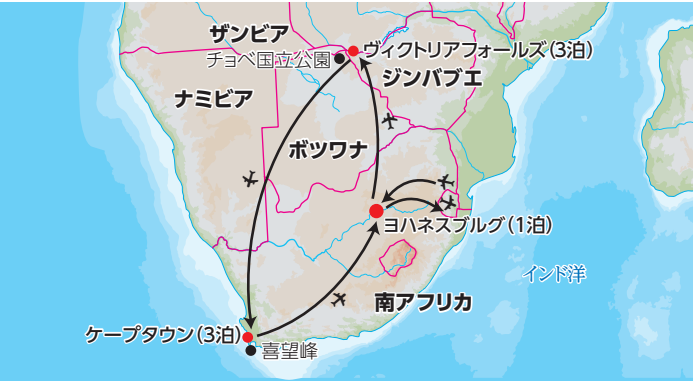


英国様式のヴィンヤードホテル本館

■ ヴィクトリアフォールズ：パーム・リバー・ホテル

■ ヨハネスブルグ空港近郊：シティ・ロッジ・ホテル・アット OR タンボ・インターナショナル・エアポート

※バスツアー付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：キャセイパシフィック航空		ツアーコード：FS001T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・10日間】 4月28日(火)		エコノミークラス利用 ¥895,000	ビジネスクラス利用 ¥1,445,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥120,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：成田～香港～ヨハネスブルグ間の往復に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥71,200：10月1日現在			

地方発着追加料金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がごさいますので 各支店へお問い合わせください
----------	--	--------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港 18:30発→ 香港 22:20着	夜、航空機にて、香港へ。	(機中泊) □□機
2	香港 00:45発→ ヨハネスブルグ 07:40着 ヨハネスブルグ11:10発→ ヴィクトリアフォールズ 12:50着	航空機を乗り換え、ヨハネスブルグへ。 航空機を乗り換え、ヴィクトリアフォールズへ。(注1) 夕刻、 ザンベジ川 の サンセットクルーズ へご案内します。 【3連泊】(ヴィクトリアフォールズ泊) 機□夕	
3	ヴィクトリアフォールズ	午前、 世界三大瀑布のひとつ、ヴィクトリアの滝 を見学。遊歩道を歩きながら、様々な角度から迫力ある滝をご覧いただけます。(注2) 午後、ザンビアに入国し、 ザンビア側のヴィクトリアの滝 の見学にご案内します。 (ヴィクトリアフォールズ泊) 朝昼夕	
4	ヴィクトリアフォールズ→ (チョベ国立公園)	終日、世界有数の象の生息地として知られる ボツワナのチョベ国立公園 を訪ね、 ドライブ・サファリ や ボート・サファリ をお楽しみください。 (ヴィクトリアフォールズ泊) 朝昼夕	
5	ヴィクトリアフォールズ 13:25発→ ケープタウン 16:30着	午前、バスにて空港へ。 午後、航空機にてケープタウンへ。(注1) ご宿泊は「 ヴィンヤード 」をご用意しました。 重要文化財に指定された瀟洒な建築で、敷地内からテーブルマウンテンを望むことのできるホテル です。 【3連泊】(ケープタウン泊) 朝□夕	
6	ケープタウン	終日、青い海と奇岩が続く沿岸のドライブルートを走り、 ケープ半島 を観光します。アフリカ最南端の○ 喜望峰 や○ ケープポイント 、ペンギンの生息する● ボルダースビーチ へご案内します。 (ケープタウン泊) 朝昼夕	
7	ケープタウン	午前、バスにて ステレンボッシュ へ。着後、ケープ・ダッチ様式の建物と並ぶ町の散策にご案内します。 昼食は、ワイナリーにて南アフリカ名産ワインと共にお楽しみください。 午後、ケープタウンに戻り、 テーブルマウンテン へ。(注3) その後、ウォーターフロントを訪れます。 夕食後、ホテルへ戻ります。 (ケープタウン泊) 朝昼夕	
8	ケープタウン 15:20発→ ヨハネスブルグ 17:25着	午前、● カーステンボッシュ植物園 を訪れます。 午後、航空機にてヨハネスブルグへ。(注1) 着後、空港近郊のホテルへ。 (ヨハネスブルグ空港近郊泊) 朝□夕	
9	ヨハネスブルグ 11:20発→	午前、航空機にて香港へ。 (機中泊) 朝機□	
10	香港 06:30着 香港 09:05発→ 成田空港 14:30着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。 午後、成田空港に到着後、解散。	機機□

(注1) 航空機の時間の変更となる場合があります。
(注2) 風向きによっては水が激しく吹き付ける場合もございます。全身を覆えるレインコートをご持参いただき、滑らず脱げにくいスポーツサンダルを履かれることをお勧めします。
(注3) 天候によりご案内できない場合や景観がご覧いただけない場合がございます。
○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ピュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食4回、夕食7回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページを2箇所含む計6ページ以上必要 ■KAZAビザ査証料(ジンバブエ、ザンビア)：50米ドル(2025年9月現在) ■査証はヴィクトリアフォールズ到着時に空港にて取得いたします。(現地にて査証料をお支払いください。)※ご入国にあたり、事前にオンライン入国審査フォームの入力が必要となりますので、弊社にて代行いたします。 ■査証手続き手数料¥6,600(税込) ■必要書類：バスポートのコピー(顔写真のページ) ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいますよう、お願いします。

庄巻の景観美

南北アンゴラ大自然の旅 10日間



アンゴラ北部

首都ルアンダから360km程北東に位置するカランドゥーラの滝。アフリカでは落差108mのヴィクトリアの滝に次ぐ、第二の落差105mを誇ります（添乗員撮影）

ここに注目。旅のポイント

南北アンゴラに点在する、大自然の数々をご紹介します

アフリカには54カ国あり、その中で7番目の大きさを誇るアンゴラ。その広さは実に日本の約3.3倍あり、大自然が南北アンゴラに広がります。しかも、ここでしか見られないような独特な景観がいくつもございます。このたびは、その中から特にご覧いただきたい景観を選びました。庄巻かつ驚愕の大自然に魅了されることでしょう。

【アンゴラ北部】



ポルトガル語で「月が見える場所」という意味の「ミラドゥーロ・デ・ルーア」。クレーターのような濃いオレンジ色の断崖が続く壮大な景観は庄巻です（添乗員撮影）



カランドゥーラの滝からそれほど遠くない場所に位置するペドラス・ネグラス（ポルトガル語で「黒い岩」の意）。その名の通り、丸みを帯びた巨大な黒い岩が林立した風景を遠望します（添乗員撮影）

ツアープランナーより

アフリカ大陸の南西部、ナミビアの北に位置するアンゴラ共和国。日本の方には決してなじみ深い国ではないかもしれませんが、2025年1月にワールドで初めてツアーとしてご案内したところ、広大で肥沃な大地に広がる自然景観に加え、都市部ではポルトガル植民地時代の面影、さらに南部には民族色豊かな文化が色濃く残るなど、その潜在的な観光要素は実に多種多様で、大好評でした。アンゴラは、数百年にわたるポルトガルの支配から独立し、30年以上に及ぶ内戦が20数年前まで行われていましたが、天然ガスや金、ダイヤモンドなど豊富な鉱物資源が埋蔵され、近年の経済の発展に伴い、治安情勢も観光でご案内できるレベルにまで安定。加えて、近年までは在日大使館へ本人出頭による査証取得をする必要がございましたが、査証不要になったことでその煩わしさもなくなりました。訪れやすくなった国アンゴラへ、この機会を逃さず、足をお運びいただけましたなら幸いです。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。



アンゴラ南部

ナミビアからアンゴラにかけて広がるナミブ砂漠にしか生息しない、寿命数千年といわれる稀少植物ヴェルヴェッチア（奇想天外）もご覧いただけます（添乗員撮影）

【アンゴラ南部】



ツンダバラの絶壁。ほぼ垂直に切り立つ巨大な岩山付近は、スリル満点の眺望が広がります（添乗員撮影）



ルバンゴのあるウイラ州からナミベ州へは一気に標高を下げますが、その際に通るのが、セラ・ド・レバ峠。ヘアピンカーブを下ると、熱帯から沿岸砂漠へと気候も変わります（添乗員撮影）



ナミベから約70km南に位置するアルコス湖周辺に広がるコリナス・キャニオン。風化によって空洞ができた奇岩など、特異な光景が広がります（添乗員撮影）

ビザなし渡航が可能に！ 格段に訪れやすくなったアンゴラへ

これまでアンゴラに渡航する際にはビザを取得する必要があり、しかも生体認証情報提出のため、渡航者本人がご自身で大使館に赴く必要がありました。しかし、2023年9月29日以降、日本人は観光ビザが免除となったことでこの煩わしさがなくなり、皆様にとってアンゴラという国が各段に訪れやすい国となりました。なお、引き続き、黄熱病予防接種証明書は必要となりますので、お持ちでない方はどうぞお早目にご取得ください。

アンゴラ共和国 (Republic of Angola)

- 面積：124.7万平方キロメートル(日本の約3.3倍)
- 人口：3,558万人(2022年:世銀)
- 首都：ルアンダ(約907.9万人、2022年:国家統計院)
- 民族：オヴィンブンドゥ族(約37%)、キンブンドゥ族(約25%)、パコンゴ族(約13%)等
- 言語：ポルトガル語(公用語)、その他ウンブドゥ語等
- 宗教：カトリック(41%)、プロテスタント(41%)、無宗教(12%)、アニミズム(0.6%)、イスラム(0.4%)、ユダヤ(0.2%)
- 略史：1483年 ポルトガル人が到達
16世紀後半 ポルトガル人による植民地開始
1950年代 ポルトガルの海外州となる、民族運動台頭
1975年11月1日 アンゴラ人民共和国の独立宣言、ネト大統領就任、内戦勃発
2002年4月4日 停戦合意、27年に及ぶ内戦終結



ポルトガルの面影を残しながらも発展し続ける

首都ルアンダに計4泊

実にアンゴラの全人口の約1/4にあたる約908万人もの人口を誇る、アンゴラ最大にして首都のルアンダ。16世紀後期にポルトガル人によって植民され黒人奴隷の輸出港として町が築かれると、以後、奴隷貿易を中心に町は発展していきました。20世紀半ばになるとポルトガルからの独立戦争が起こり、晴れて独立を果たすも内戦の暗黒時代へ突入。ルアンダは常に戦禍に見舞われてきました。2002年4月4日に内戦に終止符が打たれると、遂にルアンダをはじめとしたアンゴラに平和が訪れ、

今では南部アフリカでも有数の治安の良い国へと変身を遂げました。インフラの発展も目覚ましく、年々高層ビルが建設され、どちらかという



と暗かったアンゴラに対する皆様のイメージは一変されることでしょう。

車窓からの風景や少数民族との出会い、

日本では馴染みの薄いアンゴラ料理などをお楽しみください

大自然だけがアンゴラの魅力ではありません。車窓からご覧いただける植生やローカル・マーケット、また、旅行中にお召し上がりいただく海の幸豊富なアンゴラ料理やポルトガル・ビール、そして南部アンゴラ

で訪れる少数民族ムイラ族が暮らす村訪問など、すべてが日本では決して体験したり味わったりすることのできない非日常です。多彩なアンゴラの魅力をお楽しみください。



アンゴラ南部ルバンゴ近郊にて、ムイラ族の村を訪問します。ムイラ族は現在でも文明社会とほとんど接触することなく、独自の伝統的な生活を続けています（添乗員撮影）

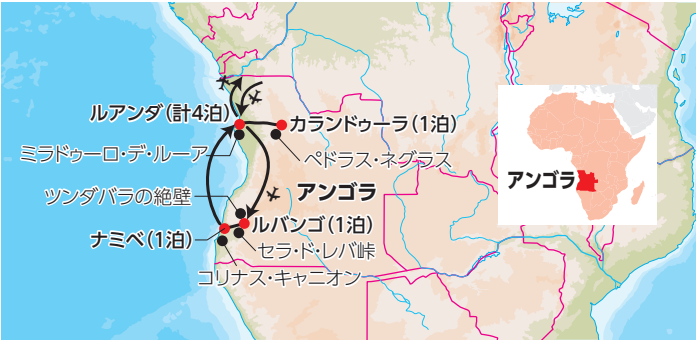


ナミベ近郊 ローカルなマンゴーの市場（添乗員撮影）

ご宿泊ホテル

- ルアンダ：ホテル・コンチネンタル・ホリゾンテまたはホテル・サンバまたはホテル・スキナ
- ルバンゴ：カスパー・リゾートまたはブルルクワ・リゾートまたはキンボド・ソバ
- ナミベ：チク・チク・ナミベまたはIUホテルまたはホテル・インフォトゥル
- カランドゥーラ：ポウサーダまたはカホンボまたはコンブレソ・アグリリオ・パセ・ヴィダ

※いずれもシャワーのみの客室となります。
※各町において、設備の比較的整ったホテルを選定はしておりますが、お国柄、ホテルの客室の設備には限りがございます。特にルバンゴ、ナミベ、カランドゥーラといった地方都市では、お湯の出が悪い、電球が切れている、水はけが悪いなどの事象が起こる可能性があります。可能な限り、添乗員が対応致しますが、限りがございますこと、予めご了承ください。
※各町、上記ホテルのいずれかを予定しておりますが、場合によっては同等クラスの他のホテルへと変更となる場合もございます。予めご了承ください。



利用予定航空会社：エチオピア航空、エミレーツ航空		ツアーコード：FS009T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田または羽田空港集合・10日間】 4月29日(水)		エコノミークラス利用 ¥998,000	ビジネスクラス利用 ¥1,798,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金¥140,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：東京～ルアンダ間の往復に適用			
燃油サーチャージ別途目安：ビジネスクラス¥77,600、エコノミークラス¥49,000：10月1日現在			
地方発着追加代金		大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので 各支店へも問い合わせください。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港21：05発→	夜、成田空港より航空機にてソウルを経由し、アジスアベバへ。 (機中泊) □□機	
2	アジスアベバ107：20着 アジスアベバ109：40発→ ルアンダ12：25着	航空機を乗り換え、アンゴラの首都ルアンダへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(ルアンダ泊) 機機夕
3	ルアンダ17：40発→ ルバンゴ19：20着	午前、ルアンダ市内観光へ。 エッフェルが手掛けた○鉄の宮殿(文化センター) 、●サン・ミゲル要塞などにご案内します(注2)。 夕刻、国内線航空機にてアンゴラ南部の町ルバンゴへ(注1)。	(ルバンゴ泊) 朝昼夕
4	ルバンゴ午前発 ⇐ ナミベ夕刻着	午前、 ムイラ族が暮らす村、ツンダバラの絶壁 を訪ねます。 午後、ルバンゴのあるウイラ州からナミベ州へ。途中、 ヘアピンカーブの続くセラ・ド・レバ峠 を下り、熱帯から沿岸砂漠へ向かいます。	(ナミベ泊) 朝昼夕
5	ナミベ16：15発→ ルアンダ18：05着	早朝、 コリナス・キャニオン へ。高さ約25mの奇岩が林立する淵を訪ねます。 自然のアーチ もございます。また、アンゴラと隣国ナミビアにしか生息しない寿命数千年と言われる 稀少植物ヴェルヴェッチア(奇想天外) もご覧ください。 夕刻、国内線航空機にてルアンダへ(注1)。 着後、ホテルへ。	【2連泊】(ルアンダ泊) 朝昼夕
6	ルアンダ (ミラドゥーロ・デ・ルーア)	終日、浸食された大地が創り出す絶景 ミラドゥーロ・デ・ルーア (「月が見える場所」という意)へ。クレーターのようない濃いオレンジ色の断崖が続く壮大な景観は庄巻です。	(ルアンダ泊) 朝昼夕
7	ルアンダ08：00発 ⇐ カランドゥーラ16：00着	終日、カランドゥーラへ(注3)。 着後、ヴィクトリアの滝に次いでアフリカ第2位の落差(約105m)を誇る アンゴラ最大の滝「カランドゥーラの滝」 を見学します。	(カランドゥーラ泊) 朝昼夕
8	カランドゥーラ08：00発 ⇐ ペドラス・ネグラス ⇐ ルアンダ20：00着	午前、 巨大な岩山が連なるペドラス・ネグラス(黒い岩) を遠望できるスポットへ(注4)。高さ70～200mまで様々な形や大きさの岩山が集積した奇岩群に関しては未だ謎が多いそうです。 その後、ルアンダへ戻ります。	(ルアンダ泊) 朝昼夕
9	ルアンダ13：50発→ アジスアベバ120：35着 アジスアベバ122：35発→	午前、ルアンダ空港へ。 午後、航空機にてアジスアベバへ。 航空機を乗り換え、ソウルを経由し、帰国の途へ。	(機中泊) 朝機機
10	成田空港20：05着	夜、成田空港着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は成田空港発着のエチオピア航空の利用を想定したものです。他航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。
※アンゴラの国内線航空機のスケジュールは頻繁に変ります。つきましては、日程表のスケジュールを調整してご案内する場合もございます。また、5日目はナミベ空港ではなく、ルバンゴ空港を利用する場合もございます。予めご了承ください。

(注1)アンゴラ国内線航空機のスーツケースの重量は20kgまでとなります。つきましては、ご旅行を通して、スーツケースの重量は20kgまでご準備ください。
(注2)ルアンダの観光は他の日にご案内する場合もございます。
(注3)7、8日目、ルアンダとカランドゥーラの往復は長時間の移動となります。また、部分的に悪路も含まれております。予め、ご了承ください。
(注4)岩のすぐ近くまでは悪路のため行きません。

○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡単なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食6回、夕食7回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート書記未使用欄：見開き2ページが2か所以上必要
■このコースでは黄熱病予防接種証明書が必要です。昨今、ワクチン不足に伴い、黄熱病予防接種のための予約が大変取りづらくなっております。つきましては、新たにご取得される方は、お申し込みと同時に予防接種の予約をされることをお勧めいたします。詳細はお問い合わせください。

2025年ツアーグランプリ観光庁長官賞・受賞ツアー
ヒマラヤの禁断の王国・
ムスタンへの旅 10日間



チベット文化圏最後の秘境、かつてのムスタン王国の首都ローマンタン

ここに注目。旅のポイント

まさに「チベット文化の博物館」ローマンタン

2008年まで存在したムスタン王国の首都、ローマンタン。名前は「奇跡の平原」を意味し、旧市街地区は城壁に囲まれた城塞都市で、1か所だけある城門は、数年前まで利用され、日没から翌日の夜明けまで閉ざされていたといひます。城内には



ローマンタンの旧市街はまさにチベット博物館

王室が運営する2つのホテルが印象に残ります

ムスタンへの旅を可能にしたのは、道路だけでなく、かつてのムスタン



ムスタン唯一の高級ホテル ロイヤル・ムスタン・リゾート

王宮を中心に3つのゴンパ(寺院)と160世帯が暮らします。旧市街に電気、水道が引かれたのも数年前だったこともあり、近代化の波を受けずにチベット文化が残りました。まさに「屋根のないチベット文化の博物館」です。



ローマンタン旧市街には3つの歴史あるゴンパが



チベット建築で統一されたロビー。迎賓館としても利用される

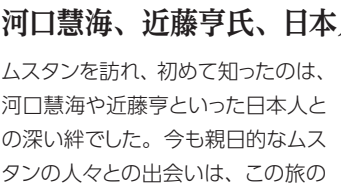
のホテルは、暖房設備や温かいお湯の供給も可能にし、厳しい寒差があるムスタンでも快適に過ごせます。ローマンタンの「ロイヤル・ムスタン・



ロイヤル・ムスタン・リゾートの客室 (イメージ)



ツァランのホテルは、旧市街の中心に位置します



ツァランの「マヤズ・ヘリテージ・イン」モダンなチベット建築

の深い絆でした。今も親日的なムスタンの人々との出会いは、この旅の大きな魅力です。河口慧海が滞在した家を訪れたり、近藤亨氏が残し

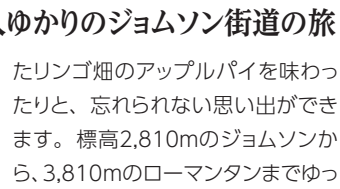
リゾート」と、ツァラン村の「マヤズ・ヘリテージ・イン」。どちらも旧王室の家族が運営しており、お客様からも大変好評をいただいています。



ロイヤル・ムスタン・リゾートのスタッフ。左端がこのホテルのオーナーである旧ムスタン王国の皇太子

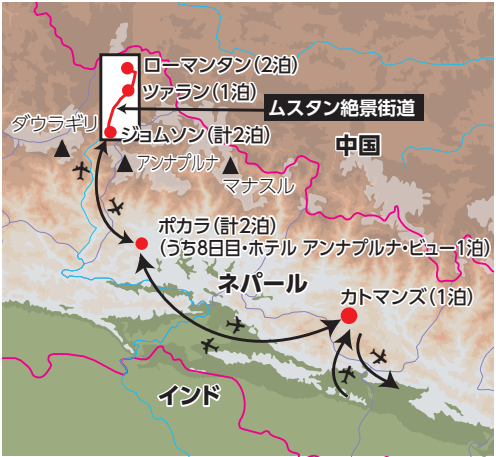


ツァランの「マヤズ・ヘリテージ・イン」モダンなチベット建築



ツァランの「マヤズ・ヘリテージ・イン」モダンなチベット建築

たリンゴ畑のアップルパイを味わったりと、忘れられない思い出ができます。標高2,810mのジョムソンから、3,810mのローマンタンまでゆっくりと標高を上げることで、高山病になりにくい行程になっています。



ツアープランナーより

2008年まで「禁断の王国」だったムスタンは、ネパール併合後も入国が困難な秘境でした。しかし、このたび道路とホテルの完成により、視察を経て一般ツアーの催行が実現。雄大なヒマラヤに抱かれ、色濃く残るチベット文化を体験できるこの旅は、世界中の秘境を旅してきたお客様からも、「まだこんな秘境が残っていた」「久しぶりに『旅』をした気分」と好評を博しています。地域や文化とのつながりを大切にしたい点が評価され、「ツアーグランプリ2025」では観光庁長官賞を受賞。秘境の素朴な姿が失われないうちに、ぜひその魅力を体験してください。



ローマンタンとツァラン村では、日本語案内人が同行説明

現地視察で大きな課題となったのが、案内人がいないことでした。この悩みは、「ロイヤル・ムスタン・リゾート」で働く旧ムスタン王室のグルンさん兄弟との出会いが解消してくれました。かつて日本企業で研修経験を持つ彼らは、グループが訪れ



ローマンタンの町を一生懸命案内してくれるグルンさん（オレンジ色のパーカー）

リンゴの花の季節を迎える下ムスタン地方

4月中旬から5月上旬にかけて、ムスタンは眠りから覚め、最も輝く季節を迎えます。この時期の楽しみは、近藤亨氏が伝えたリンゴの花です。各村で咲き誇る美しいリンゴの花は、この季節にムスタンを訪れる人だけの特別な体験です。

※現地国内線の時刻は変更となる場合があります。

※ポカラ〜ジョムソン間の国内線航空機は小型飛行機のため、機内預け荷物の重量が1人15kgまでに制限されています。荷物は軽装でご用意ください。大型のスーツケースはご持参いただけません。

※天候により、ポカラ〜ジョムソン間の航空便が欠航となる場合は、ポカラまたはジョムソンより四輪駆動車にて移動します（片道約8〜9時間）。

ポカラでは、この旅の最後のハイライト、アンナプルナ三峰やマナスル、ダウラギリといった著名な8000メートル峰を眺望できる絶好の地として知られるサラコットの丘に位置する弊社の「ホテル アンナプルナ・ビュー」での宿泊をお楽しみください。

- カトマンズ(1日目)：ザ・エベレスト・ホテル
- ポカラ(2日目)：ホテル・ポカラ・グランデ
- ジョムソン(3日目、7日目)：ホテル・オムズ・ホーム
- ツァラン：マヤズ・ヘリテージ・イン
- ローマンタン：ロイヤル・ムスタン・リゾート
- ポカラ(8日目)：ホテル アンナプルナ・ビュー
- カトマンズ(9日目・ディユース)：ザ・エベレスト・ホテル

※地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」の増加により、原則バスタブがなく、シャワーのみとなります。
※ホテルは改善されたとはいえ、地柄、客室の設備など全体的に簡素となります。
給湯施設も、日本に比べますと熱いお湯が出づかったり、水圧が弱い場合がございます。予めお含みおきください。



復路はアンナプルナ連峰を前方に見ながらのドライブ



4WD 車のキャラバンでローマンタンを目指す。1台に3名ずつ乗車

るたびに、知られざるムスタンの魅力を一生懸命に紹介してくれます。ガイドがいないツァラン村や、洞窟住居群チョサルへも同行してくれる心強い存在です。

(※急病などのやむを得ない事情が発生した場合には、ご案内できない場合がございます。)



ローマンタン郊外、チョサルの洞窟寺院もご案内いただきます

リンゴの花の季節を迎える下ムスタン地方



河口慧海ゆかりのマルファ村もリンゴの花の季節（イメージ）

利用予定航空会社：ネパール航空		ツアーコード：IH104T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・10日間】 4月27日(月)		エコノミークラス利用 ¥798,000	ビジネスクラス利用 ¥1,098,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥110,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用（成田〜カトマンズ間往復）			
燃油サーチャージ別途目安：¥12,200：10月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋〜東京 福岡・札幌〜東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付条件がごまひすので 各支店へお問い合わせください
----------	-----------------------	-------------------------------	-------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11：05発→カトマンズ16：30着 (標高1400m)	成田空港より、 ネパール航空直行便 にて、ネパールの首都カトマンズへ。 着後、ホテルへ。	(カトマンズ泊) ☒ 機 ☒
2	カトマンズ午前発→パタン午後発→ポカラ午後着 (標高820m)	午前、カトマンズ盆地の 岡古都パタン を見学します。旧市街地区の ダルパール広場 、旧王宮内にある パタン博物館 、パタンの 金剛寺 と言われる 黄金寺院 の見学。 午後、国内線にてポカラへ。	(ポカラ泊) 朝昼 ☒
3	ポカラ朝発→ジョムソン到着 (標高2810m) ☒ マルファ村 ☒ トゥクチェ村 ☒ ジョムソン	朝、航空機にて ジョムソン へ。 ※航空機が欠航の場合は、陸路移動となります。(8〜9時間) 午後、四輪駆動車に分乗し、カリガングキ川に沿った、 ジョムソン谷周辺の観光 。河口慧海の小さな 博物館があるマルファ村 、 トゥクチェ村 を訪れます。	(ジョムソン泊) 朝昼 ☒
4	ジョムソン08：00発 ☒ カグベニ村 ☒ ムクティナート村 ☒ チェサン村 ☒ ツァラン16：00着 (3560m)	終日、四輪駆動車に分乗し、 ロウアー・ムスタンの村巡り にご案内します。 古い城跡やチベット寺院が残る カグベニ村 、仏教、ヒンドウー教の聖地 ムクティナート村 を訪ねます。 宿泊は、河口慧海が10か月を過ごしたという、ツァラン村へ。	(ツァラン泊) 朝昼 ☒
5	ツァラン08：00発 ☒ ガール・ゴンパ ☒ ツァラン15：00発 ☒	午前、ムスタン王国で最も歴史のある寺院、 ガール・ゴンパ を訪ねます。 その後、河口慧海も10か月滞在したという ツァラン村の見学 。 ツァラン・ゴンパ 、河口慧海像も残る アニ・ゴンパ 、 旧王宮 を訪ねます。 見学後、かつてのムスタン王国の首都、 ローマンタン へ。宿泊は、 ムスタン王家が経営し、今も王族の迎賓館 となっている「 ロイヤル・ムスタン・リゾート 」での2泊です。	(ローマンタン泊) 朝昼 ☒
6	ローマンタン	「奇跡の平原」という意味がある ローマンタンの見学 。午前、ローマンタンよりさらに北、チベット自治区国境に近い、 洞窟住居群チョサル を訪ねます。 午後、 ローマンタン旧市街の散策 。1つの王宮、3つの寺院、約160の家が建つ城壁の町ローマンタンを見学。	(ローマンタン泊) 朝昼 ☒
7	ローマンタン08：00発 ☒ ガミ村 ☒ ジョムソン16：00着	午後、 ローマンタン旧市街の散策 。1つの王宮、3つの寺院、約160の家が建つ城壁の町ローマンタンを見学。	(ローマンタン泊) 朝昼 ☒
8	ジョムソン午前発→ポカラ午前着	び、ジョムソン街道をジョムソンに戻ります。北側から見る アンナプルナ連峰の眺めが見事なルート です。 途中、チベットの小さな村、ゴンパがある ガミ村 に立ち寄りま	(ジョムソン泊) 朝昼 ☒
9	ポカラ午前発→カトマンズ午前着	午前、国内線にてポカラへ戻ります。 宿泊は、サラコットの丘にある「ホテル アンナプルナ・ビュー」 でお過ごしください。※フライト欠航の場合、陸路移動となります。(8〜9時間) ポカラ/ホテル アンナプルナ・ビュー泊 朝昼 ☒	(ポカラ泊) 朝昼 ☒
10	カトマンズ22：30発→成田空港09：05着	午前、国内線にてカトマンズに戻ります。 朝食は「ヒマラヤ蕎麦処」にて 。 昼食後、 夕刻までホテルをお取りしております 。ゆっくりとお休みください。 深夜、 ネパール航空直行便 にて帰国の途へ。	(機中泊) 朝昼 ☐

(注) 天候によりご覧いただけない場合もございます。予めお含みおきください。
※現地国内線の時刻は変更となる場合があります。
※ポカラ〜ジョムソン間の国内線航空機は小型飛行機のため、機内預け荷物の重量が1人15kgまでに制限されています。荷物は軽装でご用意ください。大型のスーツケースはご持参いただけません。
※天候により、ポカラ〜ジョムソン間の航空便が欠航となる場合は、ポカラまたはジョムソンより四輪駆動車にて移動します（片道約8〜9時間）。
○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：6名様 ■朝食8回、昼食8回、夕食8回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上 ■査証代費：5,000円（1月現在） ■査証取得手数料：6,600円（税込） ■証明写真写真：1枚（縦4.5cm×横3.5cm。カラー写真、背景は白色。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。6か月以内に撮影されたもの）。 ■バスポート本体をお預かりします。 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出ください。なお、査証の必要有無と取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせご確認ください。 ■別途、2023年9月よりネパールを航空機で出国するすべての旅客に対し導入されたネパール付加価値税¥11,000〜¥17,000（航空機のクラスにより異なる）はお客様のご負担となります。（料金は9月1日現在の目安となります）

■当ツアーお申込についてのご注意：標高3000メートルを超える高地の旅となりますので、お申し込み時に「健康アンケート」ご提出を参加条件とさせていただきます。場合によって医師の診断書の提出をお願いいたします。予めご了承ください。また、ご旅行中のお客様においては、医師の診断・治療を必要とした場合、必要な措置を取ることがあります。場合によっては行程途中での旅行中止、あるいは帰国いただくこともございます。その際は当社添乗員の指示に従ってください。 ■高地滞在のご注意：高山病に加え、飲酒、喫煙、急激な運動をお控えください。なお、万が一の為、酸素ボンベはジョムソンから持参いたします。 ■高地順応対策の一環として添乗員がバリスオキシメーターを持参します。高地での旅は不安がつきものです。今回のご旅行では添乗員がバリスオキシメーター(携帯用の動脈血酸素飽和度測定器)を持参し、高度順応の状態を把握するよう努めさせていただきます。 ■海外旅行保険加入をお願いします。万一、重度の高山病にかかれた際に、近くの病院で治療ができない場合は車やヘリコプター、セサ機等をチャーターするなど搬送や治療に多額の費用がかかる可能性があります。これはすべてお客様負担となりますので、「治療・救護者費用」に対応した海外旅行保険のご加入をお願いいたします。 ■また、ご旅行中のお客様に医師の診断、治療を必要と判断した場合は、それに必要な措置を取る場合がございます。場合によっては、行程途中で中止、あるいは帰国していただくこともございます。その際には会社、添乗員の指示に従ってください。

シルクロードの本流 ザラフシャン=カラクム回廊をゆく
隊商の道
サマルカンド、ブハラ、ヒワの旅 8日間

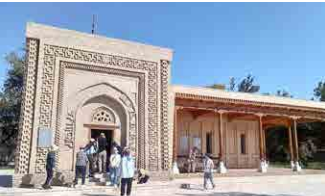


サマルカンド レギスタン広場 ティラカリ・マドラサ

ここに注目。旅のポイント

2023年に世界遺産に登録された
「ザラフシャン=カラクム回廊」を訪ねます

タジキスタンのパミール高原に発するザラフシャン川の渓谷からウズベキスタン、トルクメニスタン、そしてイランまで、4か国にまたがる約866キロメートルの範囲にわたる「ザラフシャン=カラクム回廊」。紀元前2世紀から紀元後16世紀にかけて繁栄を極めた、シルクロードの特に重要な交易路で、回廊に点在する遺跡群の一部が、突如砂漠の中に姿を現します。各オアシス都市よりも古い時代の建造群は、ウズベキスタンの



ナヴォイの町のミール・サイード・バフロム廟 (添乗員撮影)



ザラフシャン川沿い、砂漠に出現する遺跡「ラバティ・マリク・キャラバンサライ」(イメージ) ©helovi



ミナレットが印象的なヒワの旧市街

ツアープランナーより

中国からペルシャ、ヨーロッパ世界をつなぐ古代の東西交易路だったシルクロード。貿易路であるとともに文化交流の道として栄え、中央アジアに様々な文化や民族の融合をもたらしました。青のドームが美しいサマルカンド、町歩きを楽しむブハラ、中世にタイムスリップしたような城壁の町ヒワ、ウズベキスタンの英雄ティムールの故郷シャフリサブスや、ザラフシャン=カラクム回廊の名所も訪ね、あわせて5つの世界遺産へご案内します。歴史ロマンと旅情溢れるシルクロードをより印象的に楽しみたいだけるよう、夕暮れや夜の街並みを眺めたり、ティータイムを楽しんだり、工夫を凝らしたプログラムをご用意しました。一歩も二歩も踏み込んだシルクロードの旅にぜひご期待ください。



ティータイム(イメージ)

「青の都」サマルカンドは
夜のライトアップもご案内します

紀元前4世紀にここを訪れたアレキサンダー大王もその美しさに驚嘆したと伝わります。14世紀ティムール大帝国の支配下になると、ティムールは自らの帝国にふさわしい世界一の美都にしようと、天文学者、建築家、芸術家を集め一大文化圏を築きました。シャーヒジンダ廟の繊細な紋様と色彩、ライトアップされ浮かび上がる夜のレギスタン広場など、息を

呑むほどのサマルカンドの美をぜひその目でご覧ください。



微妙に色が異なる青色の装飾が美しいシャーヒジンダ廟群



夜のレギスタン広場(イメージ)

往古の歴史を秘めたブハラ
ティータイムや自由散策の時間も設けました

シルクロードに栄えた2大都市のひとつ、ブハラ。5世紀の唐書には不花刺の名でソグド人の町として記載されています。ティムール帝国以後、16世紀半ばまでブハラ・ハン国の王城として栄え、インド、中国、ロシ

アへの交通路が交わる商業都市として発展しました。ツアーではポイカロン広場でブハラの建築美を堪能しながらのティータイムやシルクロードの隊商宿らしい風情を残す「タキ」の自由散策の時間も設けました。



カラーン・モスクとミナレット

城壁に囲まれたヒワの夕景を一望します

モスクやミナレット、かつての隊商宿や奴隷市場跡が残り、ホラズム王国の首都として栄えた頃の面影も感じられる古都ヒワ。日干しレンガの

町並みが西陽に照らされる様子を一望できる、おすすめの夕景スポットにご案内します。



アクシェイフ・ババの見張り台からの夕景(イメージ)

大帝国の祖 ティムールの故郷シャフリサブスへ

大帝国を築いたティムールの支配は遥か遠くイランやシリアにまで及びました。その王族の末裔は、後にインドでムガル帝国を築きます。王朝の始祖となった彼の故郷シャフリサブスを訪れ、壮大な歴史物語を感じてください。

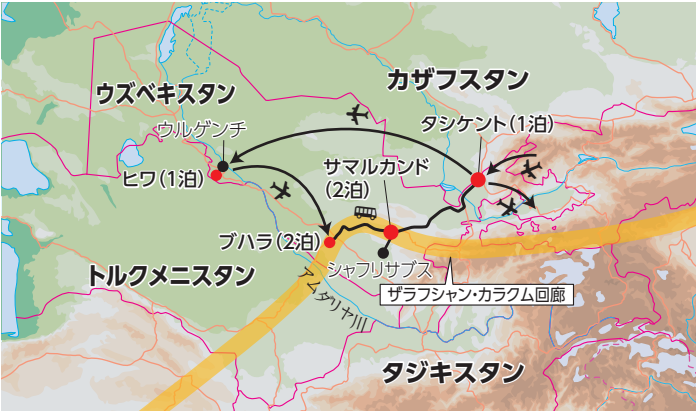


ティムールの像

ご宿泊ホテル

- タシケント：メルキュール・タシケント
- ヒワ：アジア・ヒワ
- ブハラ：パラダイス・プラザ・ラグジュアリーまたはアジア・ブハラ
- サマルカンド：コヒヌール・プラザ・ホテル&スパ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ウズベキスタン航空		ツアーコード：UA016T	
集合・日数・出発日 【成田空港集合・8日間】 4月28日(火)	旅行代金		
	エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥898,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加料金 ¥50,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間のみ適用（成田～タシケント間往復）			
燃油サーチャージ別途目安：¥52,000：10月1日現在			

地方発着追加料金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:05発 タシケント16:10着	午前、成田空港より、ウズベキスタン航空直行便にて首都タシケントへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(タシケント泊) □機夕
2	タシケント07:00発 ウルゲンチ08:30発 ヒワ10:00着	朝、国内線にてウルゲンチへ(注1)。 着後、ヒワへ向かい、 ■ヒワの観光 へ。○カルタ・ミナール、 ●ムハンマド・アミン・ハーンのメドレセ 、 ●ジュマ・モスク 、○ タシユ・ハウリ宮殿 、○ イスミール・ホジャのミナレット などにご案内します。 夕刻、クフナ・アルク城のアクシェイフ・ババの見張り台より 夕景のヒワの町並み を一望します(注2)。	(ヒワ泊) 朝 昼 夕
3	ヒワ07:30発 ウルゲンチ09:20発 ブハラ10:10着	午前、国内線にてウルゲンチより、ブハラへ。(注1) 着後、ブハラ郊外の ●スイトライ・マヒ・ホサ宮殿 を訪ねます。 その後、ホテルへ。	[2連泊](ブハラ泊) 朝 昼 夕
4	ブハラ	終日、 ■ブハラの観光 。 ●イスミール・サマニ廟 、○ バラハウス・モスク 、 ●アルク城 、 ○ラビ・ハウス にご案内します。 ブハラの絶景スポット、ポイカロン広場にてティータイムやシルクロードの隊商宿らしい風情を残す「タキ」の散策や買い物をお楽しみください。	(ブハラ泊) 朝 昼 夕
5	ブハラ08:00発 サマルカンド14:00着	午前、2023年に世界遺産登録された ザラフシャン・カラクム回廊の建造物群 が残るルートを走行。 ○ラバティ・マリク・キャラバンサライ 、 ○ミール・サイード・バフロム廟 に立ち寄ります。 昼食後、 ■サマルカンドの市内観光 へ。○ レギスタン広場のメドレセ群 、 ●ビビ・ハニム・モスク を見学します。	[2連泊](サマルカンド泊) 朝 昼 夕
6	サマルカンド (シャフリサブス)	午前、ティムールの生まれ故郷、 ■シャフリサブス へ。 着後、 ●アク・サライ 、 ●ドルツサオダット建築群 を見学。 夕刻、サマルカンドに戻り、 ●シャーヒ・ズインダ廟 にご案内します。 夜、 ライトアップされたレギスタン広場 へご案内します。	(サマルカンド泊) 朝 昼 夕
7	サマルカンド07:30発 タシケント13:30着 タシケント22:05発	朝、バスにてタシケントへ戻ります。 着後、 タシケントの市内観光 。○ ナボイ劇場 、○ 日本人墓地 、 地下鉄の乗車体験 にご案内します。 夜、ウズベキスタン航空直行便にて帰国の途へ。	(機中泊) 朝 昼 機
8	成田空港09:40着	午前、成田空港に到着後、解散。	機 □ □

(注1) 国内線のスケジュールが変更となる場合があります。その際は、各都市の観光スケジュールを入れ替えさせていただきます。
(注2) 天候によってはご覧いただけない場合がございます。

○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上 ■ウズベキスタン国内線の手配に際し、事前にバスポートのお顔写真ページのコピー（白黒可）を頂戴いたします。参加申込書とともにお送りください。 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出ください。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいませう、お願いします。

ムガールの絢爛と マハラジャの栄華 8日間



朝の幻想的なタージ・マハルはぜひご覧いただきたい絶景です（イメージ）※天候によってはご覧いただけない場合もございます

ここに注目。旅のポイント

ヤムナー川の対岸から眺める、こだわりのタージ・マハル

アグラでは、細密で抽象的なイスラム・ペルシャ文化とのびやかで大陸的なインド文化が混じり合い生まれた、まさに「絢爛」と呼ぶにふさわしいムガル文化の粋をご覧いただけます。その代表格である世界遺産タージ・マハルは、ムガル

ル帝国皇帝シャー・ジャハーンが愛する妃のために造り上げた白亜の霊廟。通常の入場観光だけでなく、朝の静けさの中佇むタージ・マハルの姿をヤムナー川の対岸のビュースポットからもご覧いただけます。



タージ・マハルは自由時間を設けてゆっくりと見学

ツアープランナーより

インドだけでなく、世界的にも有名なイスラム建築として、まず思い浮かぶのがタージ・マハルでしょう。ムガル帝国期に建築された白亜の霊廟は、古都アグラを流れるヤムナー川沿いに佇みます。そのアグラ、首都のあるデリー、そしてマハラジャの暮らすジャイプール…これら三都は「ゴールデン・トライアングル」と称えられ、中世期にインド亜大陸を席捲したイスラムやヒンドゥー王朝の歴史建築が目白押しです。急ぎ足で1泊ずつでも巡れますが、ワールドではそれぞれに連泊。ゆとりを持たせながらも、世界遺産のみならず、町や途上にあるおすすめの観光地へもご案内します。



アグラ城（イメージ）

アグラ周辺に残るムガル帝国の遺産を訪ねます

アグラに連泊し、周辺を含めてムガル帝国の栄華をご案内します。アグラ城はアクバル帝によって築かれた、まさにムガル帝国の権威の象徴。赤砂岩で造られた堂々たる宮殿が、より美しく見える午後に合わせて訪れます。アグラ郊外にあるアクバル帝の城跡ファテール・シクリは、水不足により建築後わずか14年で放棄されたため、ほぼ無傷で残ったムガールの

都として世界遺産に登録されています。（現地の天候により、訪問の時間帯を調整、入れ替える場合がございます）



アグラ城（イメージ）



世界遺産ファテール・シクリ

マハラジャが暮らす「ピンクシティ」ジャイプール

ラージプート族が築き、マハラジャの末裔が今も暮らす町ジャイプール。ピンク色に統一された旧市街は「ピンクシティ」と呼ばれます。かつて各地の藩王として権勢を誇った各地のマハラジャも一種の象徴的存在になってきてはいますが、

ジャイプールのマハラジャは今も絢爛豪華なシティ・パレスに暮らしています。ツアーでは連泊してシティ・パレスや世界遺産のジャンタル・マンタル（天文台）、郊外に位置する丘陵の城砦アンベール城など、主要な見どころにご案内します。



ジャイプールのシンボル、風の宮殿。旧市街「ピンク・シティ」を象徴する建築です（イメージ）



シティ・パレス



世界遺産アンベール城の白眉・ガネーシャ門

ツアーの見どころ

インドの歴史を刻む世界遺産の数々も訪問

ムガル帝国第2代皇帝のフマユーン廟や、奴隷王朝の初代王によるインド最古のイスラム建築クトゥブ・ミナールをはじめ、深い歴史と多様な民族文化を誇るインドの世界遺産を巡ります。



クトゥブ・ミナール



フマユーン廟



アバネリ村のチャンド・バオリ（階段井戸）



アンベール城内にあるレストラン「1135AD」

日本でもポピュラーになってきたインド料理。豊富なスパイスと食材には驚かされます。かつての宮殿の部屋をそのまま使った趣のあるレストラン「1135AD」をはじめ、各地でのお食事にもこだわりました。

デリーではムガル帝国の宮廷料理人の子孫が築いた老舗ムガル料理のレストラン「カリーム」や「アジアのベストレストラン50」

にも選定されたモダンな創作インド料理の「インディアン・アクセント」でのランチも楽しめます。



世界遺産アンベール城内のレストラン「1135AD」



利用予定航空会社：エア・インディア ツアーコード：IN180T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田空港集合・8日間】 5月2日（土）	エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥1,098,000
（お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥90,000にて承ります）		
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～デリー間往復		
燃油サーチャージ別途目安：¥18,400 / 10月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がごさいますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日数	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:50発 → デリー 16:55 着	午前、羽田空港より航空機にてデリーへ。 着後デリーのホテルにチェックイン。【2連泊】（デリー泊） ☐ 機 ☐	
2	デリー	終日、デリー周辺の観光にご案内します。 午前、 ☒ レッド・フォート、オールドデリーの路地を散策し、 ☐ ジャマ・モスクを見学。 ランチは、ムガル帝国料理レストラン「カリーム」にて。 午後、 ☒ クトゥブ・ミナール、 ☒ フマユーン廟を訪ねます。 （デリー泊） 朝 昼 夕	
3	デリー 08:00 発 → ジャイプール 13:30 着	午前、デリーよりジャイプールへ。 ランチは、アンベール城内の「1135AD」にてご用意しました。 午後、 ☒ 「ラジャスタンの丘陵城砦群」のひとつ、 ☒ アンベール城を見学。 その後、ナルガール城砦から ☒ ジャイプールの町並みをお楽しみいただき、ホテルにチェックイン。 【2連泊】（ジャイプール泊） 朝 昼 夕	
4	ジャイプール	午前、 ☒ ジャイプール旧市街の ☒ シティパレス、 ☒ ジャンタル・マンタル、 ☐ 風の宮殿を見学。 午後、自由行動です。 （ジャイプール泊） 朝 昼 夕	
5	ジャイプール08:00 発 → アバネリ → ファテール・シクリ → アグラ18:00 着	午前、アグラへ。途中、アバネリ村の階段井戸 ☒ チャンド・バオリ、 ☒ ☒ ファテール・シクリに立ち寄りませう。 夕刻、アグラのホテルにチェックイン。 【2連泊】（アグラ泊） 朝 昼 夕	
6	（タージ・マハル）	朝、ヤムナー川の対岸より、朝の幻想的なタージ・マハルをご覧ください（注）。また、 ☒ イティマド・ウッダウラー廟も訪れます。 午前、 ☒ タージ・マハルへ。自由時間を設けてゆっくりと見学します。 午後、 ☒ アグラ城を訪れます。 （アグラ泊） 朝 昼 夕	
7	アグラ08:00 発 → シカンドラ → デリー 14:00 着	午前、シカンドラの ☒ アクバル廟に立ち寄り、高速道路にてデリーへ。 デリー着後、遅めのランチをインドモダン料理「インディアン・アクセント」にてご用意しました。 夕刻、空港へ。 夜、デリーより航空機にて帰国の途へ。 （機中泊） 朝 昼 機	
8	羽田空港07:55 着	朝、羽田空港に到着後、解散。 ☐ 機 ☐	

（注）タージ・マハルは、修復作業のため一部に覆いがかけられるなど、眺望が遮られる可能性があります。また、天候により、朝日はご覧いただけない場合もございます。
○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■査証代実費：3,900円（2025年9月現在） ■査証取得手数料：6,600円（税込） ■査証用写真：1枚（縦5cm×横5cm。カラー写真、背景は白色。顔の縦（顔からあごまで）サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。 正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン（肩から上）がはっきりしたもの）。 ■バスポートのカラーコピーをお預かりします。 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出ください。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ確認ください。

ご宿泊ホテル

- デリー：ザ・メトロポリタン・ホテル
- ジャイプール：ジャイ・マハル・パレス
- アグラ：グランド・メルキュール・アグラ

※デリーとアグラのホテルはシャワーのみの客室となります。また、2名様利用の客室のベッドタイプはハリウッドツインタイプとなります。

ホテル アンナプルナ・ビューに泊まる

北インドとネパール満喫の旅 10日間



ホテルのロビーから眺めるアンナプルナ山群（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

タージ・マハルは時間帯と角度を変えて
お楽しみいただきます

ツアー前半のハイライトは、タージ・マハルの観光。ムガル帝国第5代皇帝シャー・ジャハーンが、愛する妃のために造り上げた白亜の霊廟です。地上からの高さは70メートルを超える巨大建造物で、何度訪ねても、感動的な姿を見せてくれます。ツアーでは早朝、朝日に輝くタージ・マハルを、ヤムナー川対岸のビュー

ポイントからご覧いただけます。日が昇るにつれ、タージ・マハルの姿が浮かび上がり、ドームを朝日が照らします。そして翌日、順光の午前中に場内の観光へ出かけます。世界遺産タージ・マハルをアグラ連泊だからこそこのプログラムでご満喫ください。（注1）



朝の幻想的なタージ・マハルはぜひご覧いただきたい絶景です（イメージ）
※天候によってはご覧いただけない場合もございます



ノーダラの丘（イメージ）

ツアープランナーより

インドといえば「タージ・マハル」、そしてネパールでは万年雪を抱くヒマラヤ山脈。1度の旅で、隣り合う国の異なる歴史・文化や風景に触れる旅です。インドでは首都デリーとアグラ、ネパールは首都カトマンズとポカラに宿泊。それぞれ世界中の旅人が集まる観光地として整備され、ホテルも快適に宿泊できます。とりわけワールドが運営に携わる、ポカラ・サランコットの丘の絶景ホテル「アンナプルナ・ビュー」は、標高1600メートルの丘から3座の8000メートル峰を望む絶好のロケーションに建ち、2連泊で変わりゆく山容をじっくりとお楽しみください。2つの国を一度に訪ねると、インドとネパールではまったく異なる風情があり、それぞれの魅力を深く感じていただけることでしょう。

アグラのもうひとつの世界遺産 赤く輝くアグラ城へ

3日目にはアグラのもうひとつの世界遺産、アグラ城を訪ねます。ムガル帝国第3代皇帝アクバルによって建設された居城。赤砂岩で築かれ、レッドフォートと呼ばれます。タージ・マハルを建てたシャー・ジャハーンは、隣に自らの霊廟「黒のタージ・マハル」を造ろうとして帝国の経済を傾け、自らの息子に幽閉されてしまいます。とらえられた場所がこのアグラ城の一角で、ヤムナー川のほと

りに建つ城からはタージ・マハルが望めます。そんな逸話を思いながら望むタージ・マハルは、また趣があります。



世界遺産アグラ城（イメージ）



アグラ城から望むタージ・マハル（イメージ）



ホテル アンナプルナ・ビュー
宿泊だからこそ感じられる神秘的なヒマラヤの朝

旅の後半はネパールへ。目にするものはがらりと変わり、雄大な自然景観が広がります。2連泊で滞在するポカラ郊外のサランコットの丘はヒマラヤの絶景展望ポイントで、朝日を望むためにポカラから観光客が早起きしてやってきます。ここから少し離れた場所に建つのが、皆様の宿泊する「ホテル アンナプルナ・ビュー」です。静かな環境のなか、ホテルから朝日を浴びる神秘的なヒマラヤの姿を目にすることができるのは、宿泊者だけの特権です。

また日中はヒマラヤ山脈を眺めながらハイキングを楽しみ、夜は空を覆う星々をご覧ください。忘れられないヒマラヤの麓のひとつになるはずです。（注2）



晴れた日は絶景テラスで朝食を（イメージ）

カトマンズでも世界遺産を ボダナートとダルバール広場へ

ネパールといえばヒマラヤの山並みばかりに目が向きますが、首都カトマンズには世界文化遺産があります。ネパールのなかでは最大のチベット仏教寺院であるボダナート、カトマンズ王国の王宮の前に広がるダルバール広場にご案内します。木

造建築が建ち並び、カトマンズの中世の姿を偲ぶことができます。細かい装飾など、ネパールの山の民に息づいた手仕事の存在を感じさせます。インドと異なり、こぢんまりした町は散策して楽しいものです。



木造建築が残るダルバール広場（イメージ）



ボダナート（イメージ）

デリーとアグラにて5つの世界遺産へご案内します

デリーでは現存するうち、インド最古のイスラム建築クトゥブ・ミナールと、インド・イスラム建築の傑作で、ムガル帝国第2代皇帝フマユーンの墓廟の2つの世界文化遺産へご案内します。またアグラでは郊外に広がる世界遺産ファテプル・シクリも訪ねます。ムガル帝国3代皇帝アクバル大帝が築いた都市ですが、水不足により、わずか14年で放棄されました。その後破壊されることなく、当時の宮廷地区が残され、イスラムとインド・ヒन्दゥー様式が融合した、装飾も見事な建築の数々が静寂のなかに佇んでいます。



フマユーン廟（イメージ）



ファテプル・シクリ（イメージ）

利用予定航空会社：エア・インディア、日本航空、全日空、キャセイパシフィック航空、タイ国際航空、シンガポール航空、マレーシア航空
ツアーコード：IN054T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田または成田空港集合・10日間】 4月29日（水）	エコノミークラス利用 ¥598,000	ビジネスクラス利用 ¥1,178,000
（お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥90,000にて承ります）		
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間にも適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥18,400／10月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

歌	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11：50発→ デリー 16：55 着	午前、羽田空港より航空機にてデリーへ。 着後、ホテルへ。	（デリー泊） ☐ 機 ☐
2	デリー 14：00 発 ㊦ アグラ18：00 着	午前、デリーの市内観光。㊦●クトゥブ・ミナール、㊦●フマユーン廟を訪れます。 午後、アグラへ。アグラ着後、ホテルへ。	【2連泊】（アグラ泊）朝 昼 ㊦
3	アグラ ㊦ （ファテプル・シクリ） （アグラ城）	朝、ヤムナー川の対岸より、朝日に照らされる○タージ・マハルをご覧ください（注1）。また、●イディマド・ウッダウラー廟も訪ねます。 午前、㊦●ファテプル・シクリの見学。夕刻、アグラに戻り、㊦●アグラ城を見学。	（アグラ泊）朝 昼 ㊦
4	アグラ08：00 発 ㊦ デリー 18：00 着	午前、㊦●タージ・マハルを見学（注1）。自由時間を設けて、ゆっくりとご覧いただけます。 午後、アクバル大帝の墓廟○スキンドラーを訪れながら、デリーに戻ります。	（デリー泊）朝 昼 ㊦
5	デリー 11：00 発→ カトマンズ13：00 着	午前、航空機にてカトマンズへ。 着後、目玉寺院で有名な㊦●ボダナートを訪れます。 夕刻、ホテルにチェックイン。	（カトマンズ泊）朝 ☐ ㊦
6	カトマンズ 午前発→ ポカラ 午前着 （ホテルアンナプルナ・ビュー）	午前、カトマンズより航空機にて、ポカラへ。 着後、ポカラの観光。●国際山岳博物館などにご案内します。 午後、ヒマラヤを望む絶景の展望台、サランコットの丘に建つ、「ホテル アンナプルナ・ビュー」へ。昼食後、チェックイン。ゆっくりとした時間をお過ごしください。 夕刻、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの夕日をご覧ください（注2）。	【2連泊】（ホテル アンナプルナ・ビュー泊）朝 昼 ㊦
7	ポカラ （ホテルアンナプルナ・ビュー）	早朝、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの日の出をご覧ください（注2）。午前、ホテル周辺のノーダラの展望台への軽ハイキングにご案内します。 午後、自由行動。絶景ホテルでの滞在をお楽しみください。ロープウェイを利用して、ペワ湖周辺の散策などもお楽しみいただけます。夕刻、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの夕日をご覧ください（注2）。	（ホテル アンナプルナ・ビュー泊）朝 昼 ㊦
8	ポカラ 午前発→ カトマンズ 午前着	早朝、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの日の出をご覧ください（注2）。午前、ポカラより航空機にて、カトマンズに戻ります。 着後、カトマンズの市内観光。カトマンズ旧市街の㊦●ダルバール広場の散策にご案内します。	（カトマンズ泊）朝 昼 ㊦
9	カトマンズ10：05 発→ デリー 11：50 着 デリー 20：00 発→	午前、航空機にてデリーへ。 着後、市内にて昼食にご案内します。 夜、航空機にて、帰国の途へ。	（機中泊）朝 昼 機
10	羽田空港07：55 着	朝、羽田空港に到着後、解散。	機 ☐ ☐

※日程表の時刻は羽田空港発着のエア・インディアの便を想定したものです。他の便や他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※ネパール国内線は天候などの諸事情により遅延やスケジュール変更が発生する場合がございます。遅延等により予定していた観光施設への入場ができない場合は、入場料を実費にてご返金いたします。（注1）タージ・マハルは、修復作業のため一部に覆いがかけられるなど、眺望が遮られる可能性があります。また、天候により、朝日にご覧いただけない場合もございます。（注2）天候により、ご覧いただけない場合もございます。
○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡単なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行いたします。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：5ページ以上 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無と取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいませよう、お願いします。■査証代実費：インド：3,900円、ネパール：5,000円（2025年9月現在）■査証取得手数料：13,200円（税込）■査証用写真：2枚。インド（1枚）：縦5cm×横5cm。裏にサインはしないこと。カラー写真、背景は白色。顔の縦（頭からあごまで）サイズが2.5cm～3.5cm。目の位置から写真の底面までは2.9cm～3.5cm。正面向き、顔や背景に影の無いもの。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。3か月以内に撮影されたもの。肩のライン（肩から上）がはっきりしたもの。ネパール（1枚）：縦4.5cm×横3.5cm。カラー写真、背景は白色。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。6か月以内に撮影されたもの。■バスポート本体をお預かりします。■2023年9月よりネパールを航空機で出国するすべての旅客に対し新設されたネパール付加価値税15,000円～30,000円（航空機のクラスにより異なる）はお客様のご負担となります。

ご宿泊ホテル
■デリー（1・4日目）：ラディソン・ブリュ・ホテル・ニューデリー・ドワルカ ■アグラ：ジェイピー・パレス ※シャワーのみの客室となります ■カトマンズ（5・8日目）：ハイアット・リージェンシー・カトマンズ ■ポカラ：ホテル アンナプルナ・ビュー
※デリー・アグラのホテルは、2名様利用の客室のベッドタイプは、ハリウッド・ツインタイプとなります。 ※バス탑付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

豊かな自然の中で動植物との出会いも楽しむ
ボルネオ島の大自然と
不思議のブルネイ王国の旅 6日間



ボルネオ島最高峰、標高 4,095 メートルの独立峰キナバル山（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

世界自然遺産キナバル国立公園の
魅力を存分にお楽しみください

ボルネオ島最高峰キナバル山の麓に広がる国立公園では、ランやウツボカズラなどユニークな熱帯植物が自生しています。キャノピー（林冠）ウォークなどを通してボルネオ島の大自然にふれていただきます。

世界最大の花ラフレシア（イメージ）※花期が短いため、ご覧いただけない場合もございます



ジャングルの中を進むキャノピーウォークをご体験ください（イメージ）



ブルネイの学生（イメージ）

ツアープランナーより

グリーンランド、ニューギニアに次ぐ世界第3位の面積の島ボルネオ島は、マレーシア、インドネシア、ブルネイの3か国から成り、多様で貴重な自然の宝庫として知られています。このツアーでは北部のマレーシア領にある世界遺産キナバル山の雄姿を眺めたり、キャノピーウォークを歩いたり、島の大自然をお楽しみいただきます。一方、世界でも屈指の裕福な国と称えられるブルネイ王国では、その豊かさを象徴する黄金のモスクやロイヤル・レガリアを見学します。また、アジア最大の水上集落訪問やマングローブ・ジャングルクルーズなど、ユニークな見どころへもご案内します。短い日数でも魅力が盛りだくさんのボルネオ島とブルネイ王国の旅へぜひお出かけください。

ブルネイでは伝統的な水上集落を訪ね、
ライトアップされるモスクをご覧ください

石油産出国として豊かになったブルネイ王国。その一方で昔ながらの水上集落を愛し、敬虔なイスラム教の国として素朴な生活様式を守っています。黄金のドームが特徴的なモスクは、日が暮れるとライトアップされ美しく輝きます。



ボートに乗って水上集落へ（イメージ）



黄金のモスクと水上集落の対比がユニークなブルネイ



ライトアップされたモスクをご覧ください（イメージ） ©Jorge Lascar

自然に近い環境を残す
ロッカウィ・ワイルドライフ・パーク

もともと森だった場所に手つかずのエリアが残る自然豊かな州立動物園で、こちらに暮らしている動物の半数が島の固有種です。オランウータンやマレートラ、ボルネオゾウなど多様な動植物との出会いをお楽しみください。



「森の人」と呼ばれるオランウータンの故郷はボルネオ島です（イメージ）

固有種テングザルに会うマングローブ・クルーズ

水上集落を抜けて、マングローブが生い茂るブルネイ川をクルーズするリバーサファリにご案内します。ボルネオ島にのみ生息する絶滅危惧種のテングザルやワニなど野生動物の観察をお楽しみください。



マングローブ林のクルージング（イメージ）



テングザルの群れを探すリバーサファリをお楽しみください（イメージ）



利用予定航空会社：ロイヤルブルネイ航空		ツアーコード：SE021T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【成田空港集合・6日間】 4月29日(水)		エコノミークラス利用 ¥398,000	ビジネスクラス利用 ¥698,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥70,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間のみ適用			
燃油サーチャージ別途目安：燃油サーチャージは不要です			
地方発着追加代金		大阪・名古屋〜東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌〜東京 片道 …… ¥10,000	包摂料がごさいので各支店へお問い合わせください。

日次	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:45発→バンダスリプガワン16:45着	午前、成田空港よりロイヤルブルネイ航空にてバンダスリプガワンへ。着後、ホテルへ。 【2連泊】(ブルネイ・バンダスリプガワン泊) ☐ 機 ^夕	
2	バンダスリプガワン	午前、ブルネイの首都バンダスリプガワンの観光へ。アジア最大の水上村(カンボン・アイル)をボートと徒歩で巡ります。豊かなブルネイの人々の生活ぶりが見られる、民家訪問も楽しみです。ブルネイ川のマングローブを南下するジャングルクルーズでは、テングザルやワニに遭遇することもあります(注)。その後、●ロイヤル・レガリア、○ボルキア・モスク(ニューモスク)、○オタマル・アリ・サイフディン・モスク(オールドモスク)を見学します。夜、モスクの夜景やナイトマーケットをご覧ください。 (ブルネイ・バンダスリプガワン泊) 朝昼 ^夕	
3	バンダスリプガワン⇄ウル・テンブロン国立公園⇄バンダスリプガワン20:15発→コタキナバル20:55着	終日、太古の森○ウル・テンブロン国立公園へ。手つかずの原始熱帯雨林の中、ボルネオの大自然を満喫します。昼食は河畔のロッジにてお召し上がりください。夜、航空機にてコタキナバルへ。ご宿泊はコタキナバル市内中心部、ナイト・マーケットやクラフト・マーケットまで徒歩圏内のホテル、「ル・メリディアン・コタキナバル」に連泊です。 【2連泊】(コタキナバル泊) 朝昼 ^夕	
4	コタキナバル⇄(園)キナバル国立公園	午前、ボルネオ島最高峰のキナバル山(4095m)の麓に広がる、園キナバル国立公園及び周辺の観光です。1500種以上の野生の蘭で知られる公園内では、ガイドと共に標高1600mのトレイル散策及び、野生の蘭や様々な固有種がみられる●山岳植物園を訪れます(注)。午後、○キャノピーウォーク、○ポーリン温泉にご案内します。 (コタキナバル泊) 朝昼 ^夕	
5	コタキナバル⇄ロッカウィ・ワイルドライフ・パーク⇄コタキナバル21:20発→バンダスリプガワン22:00着	午前、サバ、サラワクの先住民族文化を知ることができる●マリマリ文化村にご案内します。午後、●ロッカウィ・ワイルドライフ・パークへ。オランウータンやボルネオ象、マレートラなど独自の生態系を育むボルネオ島の動物や植物を見学します(注)。夜、航空機にてバンダスリプガワンへ。 (機中泊) 朝昼 ^夕	
6	バンダスリプガワン00:35発→成田空港07:30着	バンダスリプガワンよりロイヤルブルネイ航空にて、帰国の途へ。朝、成田空港に到着後、解散。 機 ^夕 ☐	

○お食事に関して:軽めのお食事から、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡単なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。
■バスポート必要残存有効期間:入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:連続2ページを含む4ページ以上必要 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいますよう、お願いします。
(注)動物や花、キナバル山の景観は、自然現象のため、必ずご覧いただけるとは限りません。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食4回、昼食4回、夕食4回 ■添乗員:成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:連続2ページを含む4ページ以上必要 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいますよう、お願いします。

ご宿泊ホテル

■バンダスリプガワン：ザ・リズクワン・インターナショナル・ホテル
■コタキナバル：ル・メリディアン・コタキナバル
街の散策にも便利で、コタキナバル随一のショッピングセンター「センターポイント・サバ」も徒歩圏内。屋台が並ぶ「ガヤ・ストリート・ナイト・マーケット」や「ハンディクラフト・マーケット」など、ホテルの立地を活かした散策をお楽しみください。



ウォーターフロントに建つ「ル・メリディアン」(イメージ)

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

アジア鉄道紀行 高速鉄道でジャワ島を横断

ジャワ島横断とコロニアルホテル 8日間



車窓からはインドネシアの様々な風景をご覧ください(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

田舎の風情を感じながらの列車の旅を
3回組みこみました(エアコン付車両)

ジャワ島は、イスラム教をはじめ、著名なヒンドゥー教や仏教の遺跡もあり、多様な歴史文化と民族が魅力の一つですが、もう一つ緑豊かな熱帯の風景も素晴らしいものです。東西に長いこの島の変化に富んだ風景

をより一層お楽しみいただけるよう、お体にも楽なエアコン付き車両のお席(一等)をご用意し、鉄道旅にご案内します。島に流れるゆっくりとした雰囲気を感じる、至福の時間となることでしょう。



ツアーでは3回の鉄道の旅を楽しみます(添乗員撮影:イメージ)



快適な鉄道の内車(添乗員撮影:イメージ)

ジャワ建築の傑作プランバナン遺跡や
イスラム王国の古都ソロも訪ねます

ジョグジャカルタと並ぶ古の時を刻む古都ソロでは、イスラム文化とジャワ文化が融合したカスナナン王宮やマングスガラ王宮などにご案内します。そして、ジャワで花開いたヒン

ドゥー教芸術の中心であり、ジャワ建築の最高傑作と称えられるプランバナン遺跡へ。9～10世紀に建てられた尖塔型の仏塔が特徴的です。宇宙の破壊、創造、維持をつかさどるシ

ツアープランナーより

インドネシアの大きな魅力は、仏教、ヒンドゥー教、イスラム教に代表される多様な歴史文化と民族、そして緑豊かな熱帯の風景です。このたびは従来の空路移動を中心とするインドネシアの旅とは異なり、この島の魅力であるジャワの田舎の風景をより一層お楽しみいただけるように島を横断する、旅情ある列車の旅をご用意しました。エアコン付きの車両で移り行く景色をのんびりと楽しみながら、ジャワ島を横断。多彩なジャワ島の素顔にふれていただけることでしょう。そして旅の締めくくりは、ジャワ島を代表する名門コロニアルホテル「マジャパヒト・ホテル・スラバヤ」での宿泊です。格式高い伝統のあるホテルにて優雅な滞在をお楽しみください。



世界遺産ボロブドゥール遺跡(イメージ)

ヴァ、プラフマー、ヴィシュヌの3神が祭られた神殿からは、ヒンドゥー教の世界観を見ることができます。ラー

マヤナをかたどったレリーフにもご注目ください。



高さ47メートルのシヴァ聖堂や、ヴィシュヌ聖堂、プラフマー聖堂が並びます



トロウラン遺跡



古都ソロにあるカスナナン王宮

ジャワ島の仏教遺跡、ボロブドゥール遺跡へ

ジョグジャカルタからは、世界遺産ボロブドゥール遺跡も訪ねます。8世紀後半から9世紀半ばにかけて建設されたと考えられ、独特の形状をしたストゥーパ(仏塔)は、それ自体が仏教の宇宙観を体現したものであるといわれています。ストゥーパの訪問は保護の観点から制限されておりましたが、2025年より限

定的に再開され、上部への訪問も可能となりました。千以上の精巧なレリーフ、500体もの仏像を配する、世界最大級の仏教寺院を時間をかけてご案内します。午後は、周辺の世界遺産を構成する寺院群も訪ねて、たっぷり「ボロブドゥール寺院遺跡群」を探访します。



世界遺産ボロブドゥール遺跡(イメージ)



旅の締めくくりは名門コロニアルホテル
「マジャパヒト・ホテル・スラバヤ – Mギャラリー コレクション」
に宿泊します

1910年創業、ジャワ島を代表する名門コロニアルホテルです。かつて日本統治時代は大和ホテルと呼ばれていました。市内中心部にありながら、芝生の美しい中庭があり、クラシックな洋館風の白い建物は歴史を感じさせます。客室は品のあるインテリアが据え付けられ、高級感の漂うデザインです。スラバヤの町の喧噪をしばし忘れ、優雅で歴史のあるコロニアルホテルの雰囲気浸っていたただけることでしょう。



マジャパヒト・ホテル・スラバヤの美しい中庭



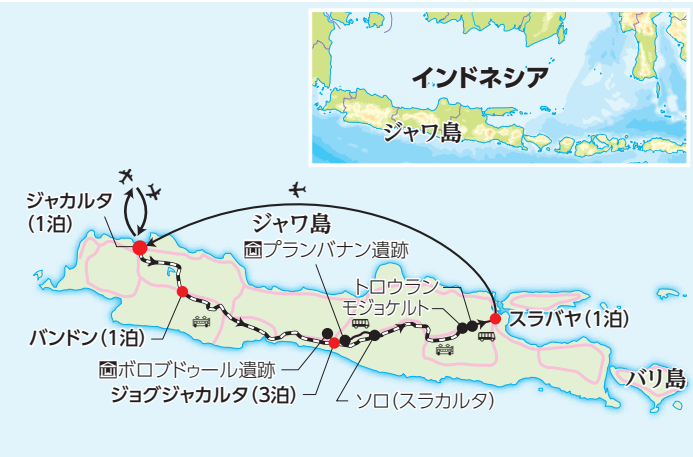
客室(イメージ)



親切なスタッフがお待ちしております

- ジャカルタ：FM7リゾートホテル・ジャカルタ・エアポート
 - バンドン：アルヤドゥータ・バンドン
 - ジョグジャカルタ：メリヤ・プロサニ・ジョグジャカルタ
- ※客室は約40㎡の広さで、3連泊にふさわしい近代的なホテルです。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ガルーダ・インドネシア航空、シンガポール航空、キャセイパシフィック航空、日本航空、全日空
ツアーコード：SE206T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田または成田空港集合・8日間】 4月29日(水)	エコノミークラス利用 ¥398,000	ビジネスクラス利用 ¥798,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥50,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間にお適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥32,000：10月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので各支店へお問い合わせください。
----------	--	-------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港11:45発 → ジャカルタ17:40着	羽田空港より、航空機にてジャカルタへ。 着後、ホテルへ。	(ジャカルタ泊) ☐ 機 ^夕
2	ジャカルタ09:00発 → バンドン16:47着	午前、旧バタヴィアのクタ地区を中心にジャカルタの市内観光へご案内します。 昼食は「カフェ・バタヴィア」にて。 夕刻、高速鉄道にて高原の町バンドンへ(約50分)。 タ刻、高速鉄道にて高原の町バンドンへ(約50分)。	(バンドン泊) 朝 ^昼 夕
3	バンドン09:30発 → ジョグジャカルタ16:30着	終日、ジャワ島の古都ジョグジャカルタまでの鉄道の旅です(約7時間)。 夕刻、列車はジョグジャカルタに到着。 着後、ホテルへ。	[3連泊](ジョグジャカルタ泊) 朝 ^昼 夕
4	ジョグジャカルタ → ボロブドゥール	終日、ボロブドゥール寺院遺跡群の見学へご案内します。 午前は、ボロブドゥール寺院を、たっぷり時間をかけて見学します。訪問が再開されたストゥーパ上部もご覧いただけます。 午後は、周辺の遺跡群へ。パオン寺院、ムンドゥッ寺院へご案内します。	(ジョグジャカルタ泊) 朝 ^昼 夕
5	ジョグジャカルタ → プランバナン → ジョグジャカルタ	午前、古都ソロの観光へ。市内のマングスガラ王宮、カスナナン王宮を見学へ。 午後、プランバナン遺跡の観光です。	(ジョグジャカルタ泊) 朝 ^昼 夕
6	ジョグジャカルタ06:45発 → モジョケルト10:07着 → トロウラン → スラバヤ16:30着	朝、鉄道の旅を楽しみながら、トロウラン遺跡への最寄り駅、モジョケルトへ(約3時間30分)。 昼食後、トロウラン遺跡を見学。その後、ホテルへ。 ご宿泊は名門コロニアルホテル「マジャパヒト・ホテル・スラバヤ – Mギャラリー コレクション」です。 (スラバヤ：マジャパヒト・ホテル・スラバヤ – Mギャラリー コレクション泊)	朝 ^昼 夕
7	スラバヤ19:00発 → ジャカルタ20:35着 ジャカルタ23:45発 → 羽田空港08:50着	午前、インドネシアを代表するコロニアル・スタイルの名門ホテルでのんびりお過ごしください。 チェックアウト後、昼食と民族文化博物館ムブ・タントゥラルの観光。その後、空港へ。 夜、航空機にてジャカルタへ。 着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。	(機中泊) 朝 ^昼 ☐
8	羽田空港08:50着	午前、羽田空港に到着後、解散。	機 ☐ ☐

※日程表の時刻は羽田空港発着のガルーダ・インドネシア航空の便を想定したものです。他の便または航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

※鉄道のスケジュール(発着時刻)は現在予定のものですが、変更となる場合がございます。鉄道での都市間移動はスーツケースを別送いたします。乗車前日夜に専用車で選びますので、寝間着、洗面具や翌日の観光に必要なものが入る小さなバッグをお持ちください。

○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：連続2ページ以上 ■インドネシアの査証は現地取得となります(約5,000円を事前にお支払いいただきます)。
■列車チケットの手に配に際し、事前にパスポートの顔写真ページのコピー(カラー)が必要となります。参加申込書とともに送ってください。

【関空発】
台湾最南端の地へ 台湾南部の景勝と
少数民族の里を訪ねる旅 5日間



船帆石（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

ルカイ族の里 秘境・霧台へ

標高1000メートルの山間に、台湾原住民ルカイ族の伝統が息づく秘境の村・霧台があります。スレートでできた家々にはルカイ族の象徴でもある百合の花の模様や、個性的な装飾が刻まれています。ルカイ族はプロテスタントを信仰していて、村には教会も建っています。伝統的な暮らしを守り、独自の文化を大切に、山の暮らしに根付いたルカイ族の集落を訪ねます。



霧台教会（イメージ）
写真提供：台湾観光庁



ルカイ族のユニークな家の装飾（イメージ）



台湾南部の景勝地と城郭都市を訪ねます

台湾最南端に位置する恒春半島には、雄大な自然が広がります。海岸線に立つ高さ18メートルの船帆石は、まるで帆を張った船のように海に付んでいます。台湾最南端碑からは、太平洋と台湾海峡が会おう壮大な景色が広がります。清朝時代に築かれた恒春古城では、四つの城門と全長2.7kmの城壁が当時の面影を今に伝えています。中山老街では、カラフルな街並みを散策しながら、地元の暮らしに触れられます。歴史

と自然が調和した台湾南部ならではの景観をお楽しみください。



台湾最南端の碑



恒春古城では城壁散策にご案内します



ツアープランナーより

まるで時が止まったかのような城壁の街、秘境に暮らす先住民族の誇り高き文化、そして日本人技師の情熱が今も息づく水庫（ダム）。台湾南部には、観光地としての表層を超えた、人々の営みが紡ぐ物語があります。城門をくぐれば、恒春の老街で地元の人々の生活を垣間見て、霧台では山間に佇む原住民ルカイ族の伝統文化に触れることができます。八田與一の遺した功績は、日台友好の証として今も人々の記憶に生き続けています。最南端の地から、少数民族の里、そして歴史と今を感じる老街や城郭都市の散策など、これまであまり紹介されてこなかった台湾南部の魅力を紹介する旅です。また、台南は食の宝庫ですので、食文化をお楽しみいただけるようメニューにもこだわっております。台湾再訪の方にも、お勧めしたいコースです。

日台友好の絆を感じられる、八田與一記念館も訪れます

烏山頭水庫（ダム）に隣接する八田與一記念館は、台湾で「水の恩人」として、今なお敬愛される日本人技師の功績を伝えています。1920年に完成した八田與一の大事業は、不毛の大地を肥沃な農地に変えま

した。記念館では、10年の歳月をかけた水利事業の記録や当時の設計図を見ることができます。現在も台南の農業を支える重要な施設として、八田與一の功績は台湾の人々に大切に受け継がれています。



烏山頭水庫 八田與一銅像
写真提供：台湾観光庁



烏山頭水庫（イメージ） 写真提供：台湾観光庁

台湾原住民族文化園区で民族ショーを楽しみます

屏東県にある台湾原住民族文化園区は、台湾の16の原住民族の文化を継承、そして広めることを目的につくられた野外博物館です。広大な敷地には、原住民族のそれぞれの特徴ある伝統家屋が再現されていたり、工芸

品が展示されています。また伝統衣装をまとった若者たちによる迫力ある歌と踊りの民族ショーも開催しています。実際に原住民族の村を訪問後に立ち寄ることで、より深く民族文化に触れることができるでしょう。（注）



台湾原住民族文化園区の外観
写真提供：台湾観光庁



台湾原住民族文化園区ショー（イメージ）
写真提供：台湾観光庁

高雄では独特の建築や歴史ある史跡にご案内します

高雄では、シンボリック存在の龍虎塔と、清朝時代からの歴史的建造物である鳳山縣舊城（ほうざんけんきゅうじょう）にご案内します。龍虎塔は蓮池潭のほとりに立つランドマークで、鳳山縣舊城は清朝時代の城壁と東門が残る史跡と、それぞれ異なる魅力を持っています。



鳳山縣舊城 北門（拱辰門） 写真提供：台湾観光庁

オランダや日本の面影が残る、台南の歴史散策

台南では街歩きがおすすめです。台南はオランダ東インド会社が拠点を置いたところで、今でも街には面影が残っています。海沿いには世界遺産級訪問地、かつてのオランダ要塞の安平古堡がそびえ、その周辺には昔ながらの雰囲気が残る安

平老街が広がります。また、台南は日本統治時代の行政中心地でもあったため、当時の建物も残り、各時代の面影を感じる街歩きが楽しめます。ホテルは台南駅に近い、散策が便利なホテルをご用意しましたので、朝の散歩もお楽しみください。



かつてゼーランディア城と呼ばれた安平古堡



昔ながらの街並みが残る安平老街を散策します（イメージ）

利用予定航空会社：エバー航空、チャイナエアライン		ツアーコード：CT037Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・5日間】 4月29日(水)		エコノミークラス利用 ¥298,000	ビジネスクラス利用 ¥498,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥35,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間のみ適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥9,400 / 10月1日現在			
駅	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港12:00発 → 高雄14:20着	午後、航空機にて高雄へ。 着後、○龍虎塔、○鳳山縣舊城をご覧いただき、ホテルへ。 (高雄泊) □機夕	
2	高雄08:30発 〰 恒春 〰 墾丁15:00着	午前、城壁に囲まれた恒春へ。中山老街の散策や、恒春古城の城壁散策をお楽しみください。 その後、台湾最南點碑へ。船の帆のような船帆石にて写真ストップし、墾丁へ。 (墾丁泊) 朝昼夕	
3	墾丁08:00発 〰 霧台 〰 台南17:30着	午前、台湾の秘境・ルカイ族の集落がある霧台へ。集落の散策にご案内します。 午後、台湾原住民族文化園区にて民族ショーをお楽しみください。 (注) その後、台南へ。 【2連泊】(台南泊) 朝昼夕	
4	台南	午前、烏山頭水庫へ。日本人技師●八田與一記念館を見学します。 その後、新化老街の散策をお楽しみいただき、台南に戻ります。 (台南泊) 朝昼夕	
5	台南10:00発 〰 高雄15:35発 → 関西空港19:35着	午前、●安平古堡の見学、安平老街の散策を楽しみ、高雄空港へ。 午後、高雄空港より航空機にて帰国の途へ。 夜、関西空港に到着後、解散。 朝□□	

※日程表の時刻は、関西空港発着のエバー航空の便を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注) 民族ショーの予約は1か月前からの開始となります。予約が出来なかった場合には、入場料をご返金させていただきます。また、予約の都合上、他の時間帯や日程を入れ替えてご案内させていただく場合がございます。

〇お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食4回、昼食3回、夕食4回 ■添乗員：関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時まで有効なもの ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要 ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ず申し出ください。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ確認ください。

ご宿泊ホテル

- 高雄：ハワードプラザホテル高雄
高雄市街の中心に建つ設備の整ったホテルです。
- 墾丁：フォーロンリゾート墾丁
- 台南：台南大飯店(ホテルタイナン)
台南駅にほど近く、散策にも便利なホテルです。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

台湾グルメ

各地で名物料理をご用意しています

台湾といえば、食も楽しみの一つ。このたびはルカイ族の集落では郷土料理、他にも台湾の麺料理、海鮮など、多様な台湾グルメをお楽しみいただけます。

台南で有名なのが「**周氏蝦捲**」のお店。50年前に始まった周さんの蝦捲は、その味が台南全土に広まりました。名物は蝦や魚のすり身をネギやセロリとともに揚げた、屋号ともなっている「**蝦捲**」ですが、蝦捲とともに台南名物である「**担仔麵**」なども適度に少量ずつ出してくれるコース料理が人気です。

台南の人気店「周氏蝦捲」にご案内（イメージ）

台南名物料理の担仔麵（イメージ）